

栃木市議会

平成28年度 議会報告会

結果報告書



議会報告会運営委員会

－報告書目次－

1. 開催概要	
(1) 開催結果	1
(2) 班編成	2
(3) 報告会内容	3
2. 議会報告に対する質疑と回答	4
3. フリートークの概要	10
4. フリートークで出された要望	
(1) 議会報告会に対する要望	11
(2) 議会や議員に対する要望	11
(3) 市執行部に対する要望	
①総合政策部	12
②総務部	12
③財務部	12
④生活環境部	13
⑤保健福祉部	13
⑥こども未来部	14
⑦産業振興部	14
⑧建設水道部	15
⑨都市整備部	15
⑩教育部	16
⑪生涯学習部	16
⑫選挙管理委員会	16
⑬消防本部	16
5. 常任委員会意見交換における意見等	17
6. アンケート結果	
(1) 議員アンケート	22
(2) 市民アンケート	30
7. 平成29年度議会報告会への提言	35
参考資料	
・議会報告会運営委員会の設置	37
・平成28年度栃木市議会報告会開催要領	38
・議会報告会運営委員会開催状況	42
・議会報告資料	43
・フリートークにおける主な意見、要望、回答	67

1. 開催概要

(1) 開催結果

日 程	会 場	参加者数 (人)	開催時間 (分)
11月1日 (火)	西方公民館	31	95
	栃木文化会館	28	95
11月2日 (水)	吹上公民館	72	103
	岩舟公民館	39	103
11月4日 (金)	大宮公民館	19	106
	大平健康福祉センター	25	88
11月7日 (月)	都賀公民館	17	105
	藤岡公民館	27	90
参加者数合計 (A)		258	
1会場あたりの平均		32	
平成27年度実績 (19会場)		535人 / 平均28人	

常任委員会

委員会名	日程・場所	参加者数 (人)
	内容・テーマ	
総務常任委員会	11月16日 (水) 國學院大學栃木短期大学	10
	國學院大學栃木短期大学学生との意見交換 ・若者の政治参加について ・まちづくりに期待することについて	
民生常任委員会	11月4日 (金) 藤岡は一とらんど保育園	14
	藤岡は一とらんど保育園保育会との意見交換 ・藤岡は一とらんど保育園の現状について	
産業教育常任委員会	11月17日 (木) 栃木市役所 (全員協議会室)	9
	スポーツ関係団体との意見交換 (スポーツ推進審議会、スポーツ推進員、栃木市 体育協会専門部、学童野球) ・スポーツの振興について	
建設常任委員会	11月10日 (木) 栃木市役所 (全員協議会室)	16
	栃木市建設業関連団体連絡協議会との意見交換 ・建設業関連団体と行政の自然災害対策における 協力体制の在り方について	
	合 計(B)	49

平成28年度参加者合計 (A)+(B) 307

(2) 班編成

班名・会場	氏 名	班名・会場	氏 名
1 班 吹上公民館 都賀公民館	大 谷 好 一	2 班 西方公民館 大宮公民館	松 本 喜 一
	渡 辺 照 明		針 谷 正 夫
	白 石 幹 男		入 野 登志子
	氏 家 晃		広 瀬 義 明
	大阿久 岩 人		大 武 真 一
	大 川 秀 子		海老原 恵 子
	長 芳 孝		永 田 武 志
	中 島 克 訓		高 岩 義 祐
3 班 栃木文化会館 大平健康福祉センター	坂 東 一 敏	4 班 岩舟公民館 藤岡公民館	茂 呂 健 市
	小久保 かおる		青 木 一 男
	古 沢 ちい子		針 谷 育 造
	平 池 紘 士		広 瀬 昌 子
	大 出 三 夫		関 口 孫一郎
	千 葉 正 弘		福 富 善 明
	天 谷 浩 明		梅 澤 米 満
	岡 賢 治		福 田 裕 司
	小 堀 良 江		

(議席番号順)

(3) 報告会内容

報告会は、議会報告、質疑応答を第1部とし、フリートーク、まとめとしてグループごとの発表を第2部とし、あわせて1時間30分程度の会議を基本とする。

- (1) 開会 (司会)
- (2) あいさつ (班長)
- 自己紹介 (議員)



《第1部》

- (3) 議会報告 (20分) (各班報告者)
 - ① 9月定例会について
 - ② 議員定数について
 - ③ 政策研究について
 - ④ 議会改革度ランキング、タブレットについて
- (4) 報告に対する質疑 (10分)

《第2部》

- (5) フリートーク (45分)

1グループ10人程度を目安とし、参加人数に応じて臨機応変にグループ分けを行い、テーマを決めず参加者と議員が自由に意見交換を行う。(議員は各グループに2人ずつ入り、進行役と書記を行い、最後にグループで出した意見を発表する。)



- (6) まとめ (10分) (意見発表)
- (7) 閉会 (司会)

2. 議会報告に対する質疑と回答

○西方公民館 11月1日(火)

【9月定例会について】

Q:「メディカルセンターしもつが」の現状はどうか。

A:課題は医師や看護師が不足していることや病床の稼働率が低いことであり、そういうことをこれからどうしていくか、理事会も頑張っている。獨協医大と自治医大の副学長が理事になったので、そちらからも医師に来ていただくようになると思う。



【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q:タブレットの効果はどれくらいあったのか。改革度ランキングが62位になったが、1位になるためには何が足りないのか。

A:決算時に紙がどれだけ減ったか出ると思う。1位との違いは、情報公開やIT化の進展などではないか。議会報告会やIT化を進めたのでプラスにはなっている。

○栃木文化会館 11月1日(火)

【議員定数について】

Q:西方地域の議員は合併当初は3人いたが、現在は1人であり、地域の声が届きにくくなり、西方地域の人には不満があると思う。そういうことも考えて定数の議論を進めてほしい。

A:市域が広くなり定数の調整は難しいが、市民の声をどう吸い上げるかも考えていかなければならない。議員の存在意義であり、地域の声をきくためには、市全体を網羅する必要はある。

【政策研究について】

Q:政策研究の関する取り組みは前向きで良いことである。なぜ、条例を作るのかのビジョンが必要ではないか。

A:なぜ政策立案をするかについては、議会改革検討委員会の中で話し合い、やることとなった。あと1年半で議員は改選になるが、それまでに良い政策、良い条例を作りたいと思っている。

Q：検討の内容やどんな研究をしたのか資料に書いていないので、教えていただきたい。

A：先ず先進事例から学んだ。京都市や戸田市で議員が作った条例があるため、それらを参考とした。栃木駅周辺は自転車の数も多く、マナーも良くない状況にあるため、何とかしたいなどの思いから現在検討している段階である。

(意見)

- ・蔵の街大通りに自転車専用道路（青く塗装した道路）がほしい。
- ・自転車が右側を通行していることを学校の先生が認めるケースがあるので、まず教育をしっかりとしてもらいたい。自転車に関する条例も良いことだが、自転車の安全を確保するためにはどうすれば良いかを考えて対処してほしい。

【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q：栃木市議会の政務活動費は、他市町と比較して効果及び成果はどのような状況か。

A：他市と比較したことはないが、栃木市議会の場合、飲食に関するものは一切計上していない。執行率も70%代で推移しているので、不自然に執行率が高いということはない。研修会や先進事例の視察は、私たち議員の資質向上に役立っている。

○吹上公民館 11月2日(水)

【9月定例会について】

Q：防犯灯予算についてLEDに変えて、電気料金削減の効果はどれくらいか。効果が出ているのなら、もっと数を増やしてもらいたい。

A：どれくらい削減できているか調べたい。

Q：一般質問の項目のみの説明だったが、答弁も含めて教えてほしい。

A：時間的な制約もあり項目のみになってしまったが、詳しくは議会だよりを読んでもらいたい。

Q：少子化問題や18歳からの投票について栃木市はどんな取り組みをしているのか。市内には高校が多くあるので、模擬議会を行ってはどうか。

A：少子高齢化問題については、空き家対策や工業団地造成など、様々な人口増のための取り組みを行っている。



選挙については、高校生議会を既に実施している。議会としては、総務常任委員会で国学院の短大生と意見交換会を実施することになってる。

【議員定数について】

Q：議員定数については、減らした方がいいという世の中の風潮もあるが、検討にあたっては、栃木市には栃木市のやり方があると思う。

A：定数検討委員会で検討の参考としたい。

【政策研究について】

Q：自転車の事故で数千万円の賠償になる場合がある。学校単位で保険に加入するなど、保険の加入について検討してもらいたいが、議会としては安全教育についてどのように考えているのか。

A：自転車で事故を起こして、数千万円の補償という例はある。保険への加入を勧める自転車販売店もあるが、店によって温度差がある。学生だけでなく、幼児や高齢者の加入についても検討しているところである。

【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q：政務活動費のことが全国的に問題になっているが、新聞で栃木市議会でも黒塗りがあると見たが、どうなっているのか。

A：領収書の個人名や印鑑など、個人情報に関する部分は黒塗りにしている。公開の方法について、議会改革検討委員会で検討していく予定である。

○岩舟公民館 11月2日（水）

【政策研究について】

Q：岩舟では年間1,000円の自転車保険があったが、それを活用すべきと思うがどうか。

A：条例で保険加入への奨励について検討しているが、強制はできない。

Q：自転車条例を選定する過程にあった家庭教育支援条例の内容について教えてほしい。

A：今回の条例を選定する中で候補の一つとしてあったもので、中身について精査はしていない。

Q：兵庫県では自転車の保険加入の条例を作ったが加入率は悪い。栃木市で条例を作る際には、自転車関係者との連携を取っていただきたい。

A：条例の素案作成後に、関係部署から意見の聞き取りを行う予定である。

【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q：体が不自由でタブレットの使用が難しい方が議員になった場合の対策は考えているか。

A：現在は考えていないが、研究していきたい。

Q：政務活動費の中身の確認はどのようにしているか。

A：各会派の会計管理責任者、議会事務局がダブルチェックしている。

○大宮公民館 11月4日（金）

【9月定例会について】

Q：コミュニティFMなどの箱物の効果測定はどうやっていくのか。

A：予測の効果を見ているが、今後は検証していくことになる。

（意見）

・新たに購入したデジタル簡易無線機は固定型よりも車載型を多くした方がよかったのではないか。



【議員定数について】

Q：人口減少の対策は打たないのか。

A：まちなかの活性化をはじめ、市としては人口増に向け、いろいろ取り組みをしている。

【政策研究について】

Q：東陽中学校生徒の自転車通学は、横に並んでいて大変危険である。安全教育は学校だけでいいのか。罰則についても考えないのか。

A：安全教育も含め、条例を検討している。罰則については、道交法もあるので慎重に考えたい。

Q：政策研究では、人口減少問題についても取り組むべきではないか。

A：人口減少問題が重要課題なのは認識している。政策研究会は、議会で条例を作って提案しようとするもので、その件とは違うので、ご了解願いたい。

【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q：政務活動費は先払いか。また、そのような事に使われているのか。執行率74%は少ないか。

A：前期、後期の2回に分かれ、先に支給されている。使途は視察、書物購入、講演会などである。視察時の食事は自費である。執行率が少ないことについては、現在はインターネットを使って調べれば済むものもある。今後も公正にやっていく。

Q：市政情報はホームページで見られるが、どれだけの市民が見ていると思うか。誰もがインターネットを使えるわけではない。

A：市政は広報とちぎ、議会は議会だよりでお知らせしている。また、ふれあいトークや議会報告会なども開催している。

Q：ランキングはどこが、どのような評価を行っているのか。

A：早稲田大学マニフェスト研究所が行い、調査項目は多岐に渡っている。

Q：ランキングについては、栃木県の順位や近隣市は何位なのかなども分かったほうがいい。

A：次回からはそのようにしたい。

○大平健康福祉センター 11月4日（金）

【政策研究について】

Q：JR大平下駅前の駐輪状況は悪い。条例を作成するにあたり、駐輪場についての考慮はしたか。

A：条例の趣旨としては、安全な自転車の走行に重きを置いていた。今後は駐輪場についても検討する。

【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q：政務活動費について、なぜ黒塗りの領収書があるのか。

A：情報を開示するにあたり、プライバシーの問題がある部分は黒塗りとした。

Q：政務活動費の使用目的と内容報告のチェックはどうなっているのか。

A：主な支出として、研修や視察の費用になる。必ず報告書を作成し、議会事務局に提出し、議長と事務局のチェックを受けている。

○都賀公民館 11月7日(月)

【9月定例会について】

Q：ホームページで議案書が公開されているが、例えば「市道〇157」と書かれていても、場所が分からない。分かりやすくできないか。

A：以前の議案書には地図もなく、分かりづらかったが、現在は地図も載せるようになり、改善されてきた。今後も分かりやすい議案書にするよう、研究していきたい。

【議員定数について】

Q：議員の数をこれ以上減らすと、地域の意見が反映できなくなるという懸念がある。経費削減というならば、議会経費を減らすことを考えるべきではないか。

A：他の報告会でも心配する意見が出ている。定数検討委員会での本格的な議論はこれからなので、意見を参考としたい。

【政策研究について】

Q：調査項目に市のPRや人口減少対策がなかったのが、残念である。

A：今回は自転車に関する条例としたが、次回の検討項目には入れていきたい。

【議会改革度ランキング、タブレットについて】

Q：ホームページで政務活動費の中身を見ると、「政策研究費」「調査旅費」がほとんどで、「資料作成費」が少ない。「資料作成費」を使い、議員活動の状況を報告してもらいたい。

A：議員の議会報告の作成費用は個人のPRになるため、認められていない。

○藤岡公民館 11月7日(月)

【議員定数について】

Q：議員定数の削減に反対である。地域の声が届きにくくなるのではないか。

A：減らすべきとの意見もあるので、参考としたい。

【政策研究について】

Q：自転車事故で保障問題もあるので、条例で保険加入の促進を加えたらどうか。

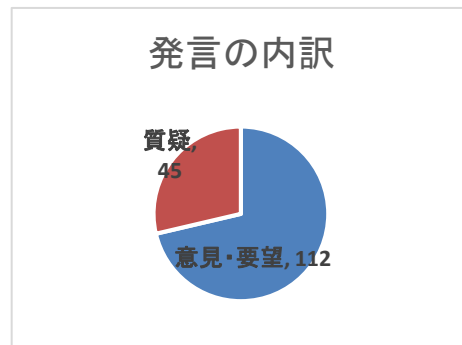
A：条例作成の中で検討したい。



3. フリートークの概要

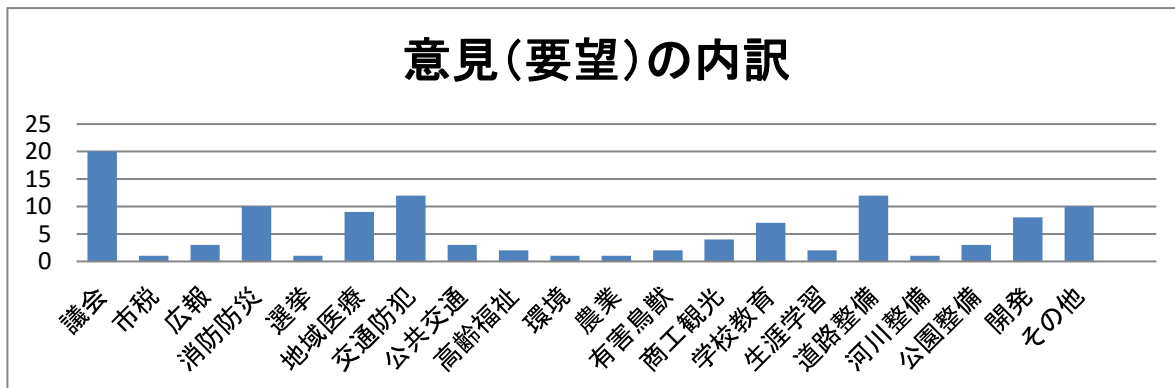
(1) 市民からの発言の内訳

意見・要望	112件
質疑	45件
計	157件



(2) 意見（要望）の内訳

議会について	20件
市税について	1件
広報について	3件
消防防災について	10件
選挙について	1件
地域医療について	9件
交通防犯について	12件
公共交通について	3件
保健福祉について	2件
環境について	1件
農業について	1件
有害鳥獣について	2件
商工観光について	4件
学校教育について	7件
生涯学習について	2件
道路整備について	12件
河川整備について	1件
公園整備について	3件
開発について	8件
その他	10件
計	112件



4. フリートークで出された要望

(1) 議会報告会に対する要望

- ・議会報告会に出した意見には、回答がほしい。
- ・春に開催し、予算化につなげることはできないか。
- ・フリートークの質問等への回答を、次年度の資料に添付してほしい。
- ・開催箇所が減ったが増やしてほしい
- ・資料が簡素化されたが従前に戻してほしい。

(2) 議会や議員に対する要望

①議会や議員について

- ・議会中に居眠りをしている議員が目につく。
- ・議会としてとちぎメディカルセンターの経営状況をしっかりチェックしてもらいたい。
- ・地元の問題だけでなく、市全体のことをしっかり考える議員であって欲しい。
- ・議員はそれぞれ得意な分野で力を発揮してほしい。個性を持ってほしい。
- ・地域会議が地域の問題を取り上げるウエイトが重くなっているが、議会も地域の問題に取り組んでほしい。

②議員定数、報酬等について

- ・議員定数を30人より少なくしたらどうか。
- ・議員定数は現状維持を望む。各地域の声を拾っていける形を要望する。
- ・議員定数については、定数を減らして報酬を増やしたほうがいいのか。
- ・議員定数については、慎重に検討すべき。
- ・議員定数について、経費削減を意識するあまり、削減ありきの様な気がする。市民の声をいかに吸い上げられるか、反映させられるかを考えて検討してほしい。

③政務活動費について

- ・政務活動費は裏報酬ではないか。無くしてもいいのでは。
- ・政務活動費を使いきってもいいからしっかりと議員活動をしてもらいたい。しっかりと活動すれば市民は納得する。

④政策研究について

- ・課題として現代社会を捉え、市としてこれから必要となるインフラ整備などの政策を勉強してほしい。
- ・人口減の地域の問題、自治会の問題が取り上げられないのは寂しい。大事な問題に取り組んでほしい。

(3) 市執行部に対する要望

① 総合政策部

○ 地域会議・自治会について

- ・ 地域会議は、地域の声を反映させるよう、地域との調整をお願いしたい。
- ・ 自治会長もペーパーレス化してほしい。

○ 広報について

- ・ 栃木市の知名度を上げてもらいたい。
- ・ 市の情報伝達の方法を考えてほしい。ホームページでは高齢者に情報は伝えられない。広報紙をもっと活用すべきである。

○ 渡良瀬遊水地について

- ・ 渡良瀬遊水地のPRを頑張してほしい。
- ・ 田中正造史跡と渡良瀬遊水地の日本遺産認定に向けて、議会にも協力をお願いしたい。

○ その他

- ・ オリン晁電社の問題は勝訴するように頑張してほしい。
- ・ 婚活事業に重点的に取り組んでももらいたい。

② 総務部

○ 防災について

- ・ 防災無線を正午にも流してほしい。
- ・ 防災無線の音量を大きくしてほしい。
- ・ 防災ラジオが聴こえない場所の電波状況の調査をお願いしたい。
- ・ 自主防災組織への支援をお願いしたい。
- ・ 防災無線で流すのは市歌ではなく、ソフトなチャイムにしてほしい。
- ・ 防災無線の設置場所を広報で周知してほしい。
- ・ 自治会に配付した防災ラジオの活用マニュアルの整備をお願いしたい。

③ 財務部

○ 市税について

- ・ 国民健康保険税の収納率を上げてもらいたい。

○ 補助金について

・補助金を無駄に使っている団体も見受けられるので、補助金の見直しを考えてほしい。

④生活環境部

○交通安全について

- ・大塚町の山田うどん交差点の南北方向通行は、朝夕の混雑がひどいので、改善をお願いしたい。
- ・自転車のマナーについて、教員への教育をしっかりとやってもらいたい。
- ・片柳町の自転車専用道路の見直しをお願いしたい。
- ・子どもが通る時間帯に通学路を私服警官に見てもらいたい。
- ・栃木地域の大通りとその近辺に自転車専用道路を設置してもらいたい。
- ・カーブミラー設置の申請をしたが、対応が遅い。
- ・通学路となっている生活道路の改修を進めてもらいたい。
- ・通学路へ進入時間制限の看板が分かりにくいので、大きな看板にしてほしい。
- ・通学路をデコボコ道にすることでスピードの制限になるのでは。
- ・平柳町5差路の信号機の切替時間の調整をお願いしたい。時間が短すぎる。
- ・通学路では物理的にスピードが出ないような策を講じるべきである。また、縁石の高さをもっと高くすることはできないか。
- ・蔵の街大通りに自転車専用道路（青く塗装した道路）がほしい。

○防犯灯について

- ・西方地域の防犯灯の数を増やしてほしい。

○公共交通について

- ・ふれあいバスについて、大平地域の北武井を通るルートに見直してほしい。
- ・北部健康福祉センター完成後には、都賀地域から循環バスによる交通手段の確保をお願いしたい。
- ・ふれあいバス部屋線で廃止となった「部屋南部桜つつみ公園」へのルートを再開してもらいたい。

⑤保健福祉部

○とちぎメディカルセンターについて

（しもつがについて）

- ・フロアスタッフを置いてもらえないか。
- ・駐輪場に屋根を設置して欲しい。

- ・バスの時刻表や路線図の文字が小さくて見えない。
- ・経営、医師の対応、医師不足が心配である。
- ・救急体制をしっかりとしてもらいたい。
- ・病院内の案内表示が分かりにくい。
- ・場所の案内看板を多く設置してほしい。
- ・入口の屋根を大きくしてほしい。
- (その他)
- ・メディカルセンターとちのきの救急外来体制を戻してほしい。

○高齢福祉について

- ・民生委員の選定が非常に大変である。いい方法を考えてほしい。
- ・民生委員の任期を3月末とするべきだ。検討して欲しい。
- ・地域支え合い活動推進条例について、行政からは名簿は表に出さないでくれとの事で、活動するのに難しさを感じている。

○健康増進について

- ・健康維持に対する施策を展開し、市民へPRすべきだ。

⑥こども未来部

- ・西方なかよしこども園の正職員をもっと増やすべきだ。

⑦産業振興部

○農業について

- ・T P P 問題や減反など農業に対する施策に取り組んでほしい。

○獣害対策について

- ・獣害対策について、さらなる対策を望む。
- ・深沢地域は山間地で、猪や鹿の被害で困っている。対策をお願いしたい。

○商工観光について

- ・都賀、西方地域で雇用の確保をお願いしたい。
- ・とちぎ秋まつりの文化遺産登録へ向けて取り組みをお願いしたい。
- ・千塚町上川原産業団地に地下水の減少に影響する会社を入れないでほしい。

⑧建設水道部

○道路整備について

- ・ 県道小山栃木都賀線工事の進捗状況について、地権者以外にも説明してほしい
- ・ 鍋山街道から栃木中央小方面の危険箇所について対策をお願いしたい。
- ・ 県道栃木栗野線で大型車が迂回している意味がないのではないか。
- ・ 市道舗装についての予算の確保を望む。
- ・ 旧市道 I 3 2 4 号線に歩道をつけてほしい。
- ・ 市道を定期的に巡回し、補修箇所をきちんと把握してほしい。
- ・ 下水道工事後の道路舗装（防塵舗装）をしっかりとしてほしい。
- ・ 藤岡地域の旧市道 F 6 号線の工事を進めてほしい。説明が何も無い。
- ・ 小池地区の跨線橋には落書きが多い。子どもに絵を描いてもらったらかどうか。
- ・ 市道 1 0 3 3 号線は狭くて危険である。完成を急いでほしい。

○公園整備について

- ・ 豪雨災害で崩れた西方総合公園野球場付近の崖崩れの復旧を急いでほしい。
- ・ 大森町区画整理地内の公園の除草について、自治会でやるのか市でやるのかをはっきりしてほしい。
- ・ 升塚公民館周辺の公園の除草をお願いしたい。

○その他

- ・ 農業集落排水は便利で良いが、管理組合で管理している。公共下水と同じように行政で管理してもらいたい。

⑨都市整備部

○開発について

- ・ 都賀・西方スマート I C 完成後の周辺開発について取り組んでもらいたい。
- ・ 佐野藤岡インター周辺の開発を早く進めてほしい。
- ・ 岩藤大規模開発を進めてもらいたい。

○その他

- ・ 真名子地区のメガソーラーを条例で規制してほしい。
- ・ 空き家問題について対策をお願いしたい。
- ・ 荒立北区画整理地区の土地の販売額を若者でも購入できるように、もっと安くできないか。

⑩ 教育部

○ 学校教育について

- ・ フリースクールをもっと支援して欲しい。
- ・ スクールガードの後任が見つからず困っているの、市からも呼びかけしてもらいたい。
- ・ 学校運営協議会の役割について、きちんと説明してもらいたい。
- ・ 図書館に勉強を教えられる人材の配置をしてはどうか。
- ・ 小中学校の通学区域の見直しに早急に取り組んで欲しい。
- ・ 東陽中学校の運動場拡張計画を早急に実行して欲しい。
- ・ 学校の非常階段など劣化が目立つ。また、洋式トイレの整備を進めてほしい。
- ・ 藤岡二中の生徒が減少しているが、市としての考えを示してほしい。適正配置の説明会があったが、踏み込んだ話がなかった。

⑪ 生涯学習部

○ 生涯学習について

- ・ 静和地区公民館敷地の再整備をして、地域住民の広場としてほしい。
- ・ 県道桐生岩舟線に立っていた円仁誕生地の看板が無くなった、看板を立ててもらいたい。

⑫ 選挙管理委員会

○ 選挙について

- ・ 投票時間は午前 8 時～午後 5 時にしたらどうか。期日前投票所は、特に時間短縮を考えて欲しい。

⑬ 消防本部

○ 消防団について

- ・ 消防団員が集まらない。報酬及び出動手当を見直してほしい。

5. 常任委員会意見交換会における意見等

○総務常任委員会 11月16日(水)

相手：國學院大學短期大学学生

□議会からの報告

- ・栃木市議会について
- ・栃木市のまちづくりにいて

□テーマ「若者の政治参加について」

- ・18歳選挙権は急で唐突に感じる。自分自身がよく政治をわからないので、投票に行ってもどうなのかなという気持ちもある。子供の頃からの教育が大切だと感じている。
- ・マスコミで政治家の不祥事が流されると、政治への不信感が増すばかりで、投票に行こうという気持ちにならない。
- ・実際に投票に行ってみると、投票の仕方がわからないので戸惑ってしまう。投票の仕方なども広報したほうがよい。
- ・投票してみると、その後の議員活動を監視しなければならないという気持ちが少しずつ芽生えてきた。
- ・選挙は自分たちの将来にかかわるということ意識できるようになった。
- ・政治家自身をもっと政策などをPRしてほしい。そうすることで関心も高まるのではないか。
- ・学生が集まる場所で候補者自身と話をするとよいのではないか。

□テーマ「まちづくりに期待することについて」

- ・栃木市は、昭和の時代のような。
- ・栃木駅前、塾ばかりで若い人にとって魅力的な商業施設が少ない。電車の待ち時間に寄れるカフェを作って欲しい。
- ・議員に意見を聞いて欲しい。意見を届けていただきたい。
- ・栃木市の魅力をもっと、対外的にアピールして欲しい。
- ・道路がデコボコで危ない。横断歩道との段差も激しくて、自転車のカゴの荷物が飛んだ。
- ・ボランティアを通して栃木市の良さを知ってもらえるのはどうか。
- ・栃木市の歴史をもっと知る様な場所を設けたらどうか。
- ・スポーツフェスティバルを増やして欲しい。

○民生常任委員会 11月4日(金)

相手：藤岡は一とらんど保育園保育会

□テーマ「藤岡は一とらんど保育園の現状について」

- ・散歩が少なくなり残念である。
- ・送迎バスが無くなった。統合して、通園距離が遠くなったからこそバスが必要なのではないか。
- ・園庭が狭く、遊具も少ない。

- ・給食に米飯を持参するのが負担である。
- ・駐車場は増設されたが、それでも少ない。
- ・運動会を園庭、屋外でやりたい。
- ・園児が増えたので先生と話しづらくなった。
- ・園舎周辺に外灯が少なく、道路が暗い。
- ・園舎への進入路が狭くて危険である。
- ・園児数が増え、いろいろな子どもと遊べるようになった。
- ・トイレが教室内にあるので、0・1・2歳児は行きやすくなった。
- ・園舎は木のぬくもりが感じられてよい。
- ・教室が広くなり、子どもが風邪をひかなくなった。
- ・運動会を屋内で実施することで、ハイハイでも参加できる。
- ・下駄箱が屋内になり、雨天時に濡れなくなった。

○産業教育常任委員会 11月17日(木)

相手：スポーツ関連団体（スポーツ推進審議会、スポーツ推進員、栃木市体育協会、学童野球）

□テーマ「スポーツの振興について」

- ・スポーツを通して人の流れを作り、スポーツで人が集う街づくりをお願いしたい。
- ・栃木地域にターゲットバードゴルフができる場所の提供をお願いしたい。
- ・企業のスポーツに対する理解と支援が県南5市の中で遅れている。
- ・指導者、場所、用具の不足・不備を感じる。生涯1スポーツを市として取り組んでいる中で、スポーツが続けられない。
- ・自分も経験させてもらったが、東京オリンピックの時には、中学生をバスで観戦に連れて行ってもらいたい。
- ・スポーツの取り組みについて各地域で差がある。
- ・市民スポーツ大会は地域によって競技がない種目があるので、優勝するところが決まってしまうのではないかな。
- ・栃木県で国体が開催されること、市内でも開催会場があることが知られていない。もっと広報が必要なのではないかな。
- ・スポーツマスタープラン策定に関わったが、スポーツについて幅広い年齢の方が関心を持ち、生涯続けていきたいとの意見が多くあった。
- ・学童野球の指導は保護者の中から経験者がやっているが、入れ替えがあり、その度に苦勞する。また、学校が使えず、広場で練習している。
- ・学校にAEDはあるが、休日は鍵がかかっているなので万が一の場合使用できない。
- ・公共施設にある機材は古くて使用できないので、自分達で機材を持ち込んでいるが、自宅で保管するのは困難なので、収納庫などは提供できないかな。

○建設常任委員会 11月10日(木)

相手：栃木市建設業関連団体連絡協議会

□テーマ「建設業関連団体と行政の自然災害対策における協力体制の在り方について」

- ・市との災害に関する協議はうまく進んでいるが、昨年9月豪雨の際は連絡体制が多少混乱した。

- ・災害時に路線番号で道路を指示されても現地までたどりつけない。市で管理している道路であれば位置図を頂くか、説明をきちんとしていただきたい。
- ・市で管理している河川・水路も番号では混乱するし、小さい水路のような河川では河川名を言われても探すのに時間がかかる。
- ・去年は各地域の連絡体系がバラバラだったので、指示を一本化していただきたい。同じ場所に違う部署から違う団体へ復旧依頼が出ていた。庁内で連携を取って指示を出してもらいたい。
- ・電設業に対して緊急要請は過去になかったが、災害に対する体制は整えており、対応するノウハウはできている。
- ・道路と公園の間に倒木があり、道路部局と公園部局で異なる業者に依頼があった。統一した連絡体制を取りたいと思い、緊急連絡網を作成した。
- ・災害時には主に水道事業の協力が多い。
- ・設備業協会は入札に参加している業者。別に管工事組合という団体があり、そちらは市の水道事業に関する業務を行っている。設備業協会として災害時に活動したことはない。管工事組合は、雷などの応急対応や、豪雨の際に浄水場の応急処置などを行っている。多い時には年数回直接組合に依頼がある。2つの組織があり、7～8割の業者は双方に所属している。水道担当課から依頼を受けて動く場合と、災害時には建設団体からの依頼があった際に、どっちを優先して対応すべきか混乱する恐れがある。今後、依頼の流れ、どの様に動いたらいいのか作成してもらえると動きやすい。
- ・測量設計業協力会には、昨年豪雨の際には3カ所の測量設計を請け負ったが、我々には表彰制度や評価点などはなく、業務委託のために表に出ない。担い手の育成のためにも評価点などを設けていただくとモチベーションも上がる。
- ・通常業務では市外や大手の業者が入ってくるのが現状である。清掃活動にも参加しているし、災害時の協力といった部分も考慮していただき、指名機会の増加をお願いしたい。
- ・昨年豪雨の際、午後10時か11時頃に西方総合支所から消防団が土嚢を作ろうとしたところ砂がないため砂を何とかしてほしいという連絡があった。大平でも砂がないという連絡があった。持ち合わせがあったため運搬したが、各支所である程度の砂を備蓄しておいた方がよいと感じた。砂の需要はあると思う。

Q（議会）：道路の位置がよく分からないという点について、地図などの情報がなかったということか。

A（協議会）：情報が無く、路線番号で言われても分からなかったもので、直接市役所で場所の説明を受けた。

Q（議会）：指示を出す際には住所や番地があると分かりやすいか。

A（協議会）：そうしていただくと分かりやすい。

Q（議会）：社内で部下に知らせるときの指示内容は。

A（協議会）：ゼンリンの地図をコピーして指示している。

□テーマ以外の意見

「建設業」

- ・工事設計で造成の中に仮設道路も鉄板も含むというがどこにどう含まれているのか分からない。明確にしていただかないと分からないし、仮設分は持ち出しとなる可能性もある。
- ・水中ポンプにしても最低限のものしか見ていないことがある。水量にあったものを明確に出していただきたい。

・全部業者が負担するのかということになると業務が成り立たない。担い手不足にも繋がる。

Q（議会）：本来であれば仮設道路にしても単価表になっているわけだがついていないか。入札の時点で質問などはできないか。

A（協議会）：質問事項で提示する部分では考えていない。実際、仮設道路を予測してはいなかった。なぜなら業者の一存で工事を進めていく場合、仮設道路は道路から入っていきける状況なので、そこを利用する方向で考え積算した。落札後の協議で土を持っていく場所によっては仮設道路を造らないと行けない。では費用は何処で見ているのかとなると造成に含まれていると。幅員5mの仮設道にしても鉄板にしても費用がかかる。協議の中で仮設道が無くては盛り土ができないとなるが、いくら見ているのかとなると具体的な金額は出てこない。

Q（議会）：本来は変更設計してもらえるといいが。

A（協議会）：それはやっていただけない。話をしても含まれているという回答であり、明確には示してもらえない。協議の意味がないと感じる。

「造園業」

・公園と街路樹の工事や管理をしているが、不況のため工事は27年に2件、28年はなし。市外の業者が受注している。ある公園では作業用の看板や危険を知らせるカラーコーンを置かない業者がやっている。市の担当者も安ければいいということかもしれないが、安ければいいということでもないし、我々は安全管理を第一に考えているので地元である造園組合にお願いしていただきたい。

Q（議会）：随契が多いか。

A（協議会）：技術者がいるかどうかは関係なく安い業者になっているようである。造園組合に入っても何にもないということ。年間数件で管理も1社に1つというような状況。技術を持った人を雇うには費用もかかってくる。

・樹木の場合は結果が出るのに4、5年かかる。その時だけいいということではしていると後で困ることになる。植木に関しては5月に発注されては草が生い茂っているような状況である。芝刈も普通の芝刈の金額では厳しい。発注を早くするか秋にするか。生き物なので長い期間を見てもらいたい。

Q（議会）：発注時期は年度切り替えがあるので5月では遅いか。

A（協議会）：5月では遅い。これでも早くしてもらったが遅い。公園でも雑草が出てきてしまう。

・単発で発注があるものは苦情が出てから発注となる事が多い。そのような件は既にひどい状況になっていることが多い。季節が関係するので、造園を勉強している我々にお願いしたい。芝を年間2回刈るよりも、年間管理にして年3、4回刈った方がやりやすい。また、機械のメンテナンス料も出していただきたい。

・後継ぎができるような業種にしていきたい。栃木の造園業者がいなくなる。実際に市内に材料屋さんがいなくなっている。災害時にも対応できなくなる。

「電設業」

・小中学校のエアコンの増設工事を3年請けているが、市から設計委託をして図面が作られ入札

となり、落札をして、図面に基づいて学校を見に行く。しかし設計書通りにやると機能しないような設計になっているものが数件あった。明らかに設計の段階で現状を見て書いているとは思えないものがあった。机上の情報だけで設計しているから元々が狂っている。これまで3年間で毎年そのようなケースがあった。設計の段階でもう少し精度を上げてもらいたい。5月末～6月にかけて入札、8月の夏休み中に工事を終わらせてくれとなるが、タイトなスケジュールの中で我々が設計の見直しをやっているようなものである。あまりにもひどい設計があったので、今後は無駄なことをやることのないように計画段階で精査してもらいたい。

Q（議会）：この3年間で市に対して設計の問題点について指摘しているか。

A（協議会）行政には指摘している。専門用語を交えて説明しても、かみ砕いて説明してもなかなか伝わらない部分がある。タイトなスケジュールの中で、なぜ我々が設計事務所の仕事をしているのかということ。そうならないような市のチェックシステム作りをしてもらいたい。我々はタイトなスケジュールでもやらせていただくが、基本的な部分はしっかりしていただきたい。東電への申請も時間がかかるようになっているので非常に時間がない。

「設備業」

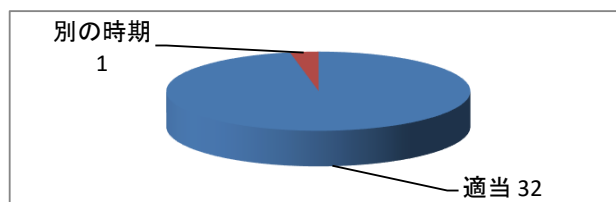
- ・入札では市外業者・県外業者など、入札の枠を広げられている状況なので市内本店のみなど、市内業者の育成という点も考慮していただき対応をお願いしたい。

6. アンケート結果

(1) 議員アンケート

1) 開催時期について

1	適当	32	97%
2	別の時期	1	3%
	計	33	100%



「1. 適当」の意見

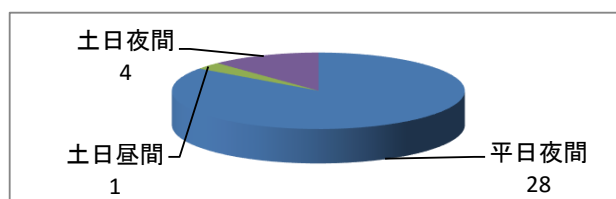
- ・ふれあいトーク開催時期から期間を空けた方がいいので、11月中旬開催が出来ればと思う。
- ・予算確定直後も開催時期としては良いかも。
- ・適当だがふれあいトークとの日程調整は考えていただきたい。

「2. 別の時期」の意見

- ・春、夏(7月～8月)

2) 開催曜日・時間帯について

1	平日夜間	28	85%
2	平日昼間	0	0%
3	土日昼間	1	3%
4	土日夜間	4	12%
	計	33	100%



「1. 平日夜間」の意見

- ・出席者の多い所と少ない所があるがやむを得ない。
- ・アンケートで要望が多いなら1度くらい昼間に開催してもいいと思う。
- ・若年層の参加率が悪い。今後検討要す。

「3. 土日昼間」の意見

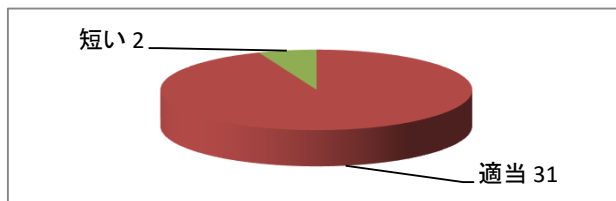
- ・高齢者の方には昼間の方がいいかもしれない。

「4. 土日夜間」の意見

- ・参加者層を広げるために、曜日と時間帯を変えることも必要だと思う。

3) 会議時間について

1	長い	0	0%
2	適当	31	94%
3	短い	2	6%
計	計	33	100%

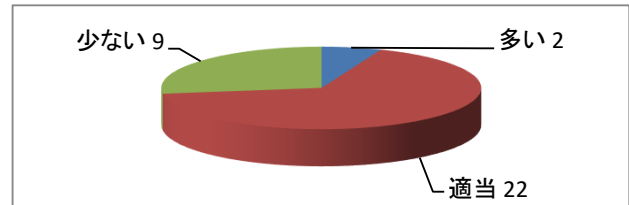


「2. 適当」の意見

- ・議論を深める意味から時間延長の声もあるが、現状で適当である。
- ・フリートークで盛り上がった場合は、もう少しと思うが、現状でちょうどいい。

4) 開催会場数について

1	多い	2	6%
2	適当	22	67%
3	少ない	9	27%
	計	33	100%



「1. 多い」の意見

- ・栃木地域は2カ所、他の地域は1カ所でいいのではないか。

「2. 適当」の意見

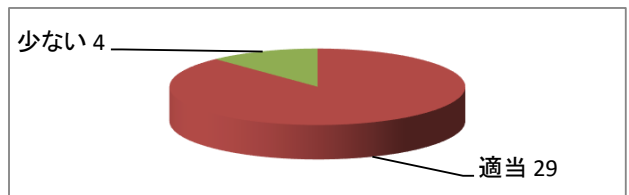
- ・前回より半分の場所になり少ないという参加者の意見があった。
- ・西方地域で真名子での開催は無いのかと言われたが、1カ所でいいと思う。
- ・会場数を少なくすると参加者数が減るデメリットもある。
- ・昨年の「19か所は多い」の意見を尊重しての8カ所での実施は良。
- ・参加者からは少ないという意見も出たが、参加率は昨年と変わっていない事とリピーターも多い傾向から、会場数を増やすことより市民に興味を持たせる工夫が必要と感じる。

「3. 少ない」の意見

- ・栃木地域では各公民館ごとの方がいいのでは。
- ・これまで比較的参加者数が多かったにも関わらず廃止となった場所は復活させた方が良いと思う。参加者総数を前年程度は維持すべきではないか。
- ・会場が遠くなると参加しにくくなる。
- ・旧町では2カ所やってもよかったのでは。
- ・市民からも少ないという意見あり。

5) 議員の出席回数について

1	多い	0	0%
2	適当	29	88%
3	少ない	4	12%
	計	33	100%



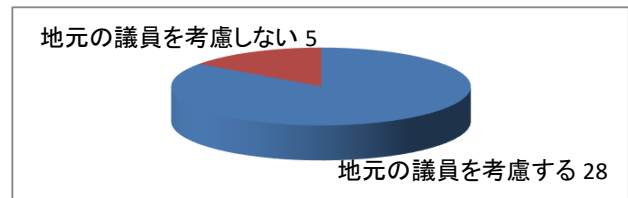
「2. 適当」の意見

- ・多少増えても問題なし。
- ・2回でちょうどいいと思いました。負担にならない回数でした。

6) 班編成について

(1) 割振地域について

1	地元の議員を考慮する	28	85%
2	地元の議員を考慮しない	5	15%
	計	33	100%



「1. 考慮する」の意見

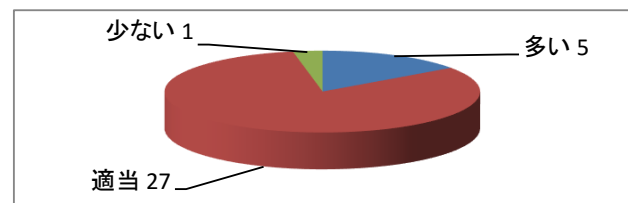
- ・自分の後援会に連絡して人集めができるので考慮すべき。
- ・地域の意見もあるので地元議員も必要である。
- ・参加者からすると顔が分かり、地域のことも知っている議員がいた方がよい。
- ・地元の要望は地元の議員が詳細に把握している。
- ・フリートークになると地元の話になるので、地元議員がいた方がいいと思う。
- ・地元特有の話にも対応する必要がある。
- ・フリートークで地元の議員に対する意見がある。
- ・地元議員は3名以内にするべき。
- ・考慮は必要であるが、最小限に止め各地域の議員と混合させる。

「2. 考慮しない」の意見

- ・考慮しないでいいと思うが、フリートークになると地域の話題になりがちな面も無視できない。
- ・全て考慮することは出来ないなので、考慮する必要なし。

(2) 班の人数について

1	多い	5	15%
2	適当	27	82%
3	少ない	1	3%
	計	33	100%



「1. 多い」の意見

- ・何もしない人がいる。記録係は全員で記録すればいいのだから不要。1班5~6人でいいのでは。
- ・もっと少なくして1人1役にすべきである。
- ・各議員も慣れてきたと思うので少数でも対応可能では。

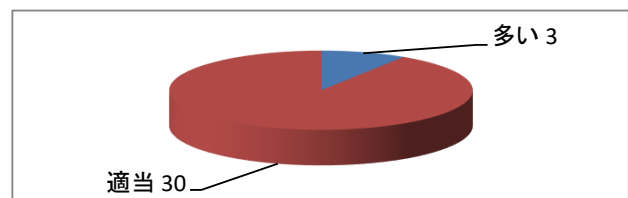
「2. 適当」の意見

- ・役割分担はちょうどいい人数だった。

7 報告事項について

(1) テーマの件数について

1	多い	3	9%
2	適当	30	91%
3	少ない	0	0%
	計	33	100%

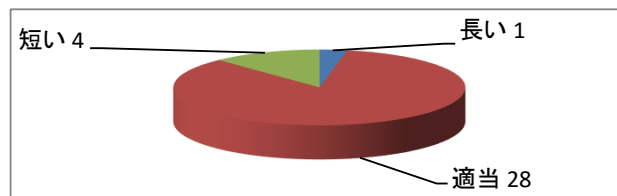


「1. 多い」の意見

- ・テーマは3件でいいのではないか。

(2) 説明時間(1項目あたり5分)について

1	長い	1	3%
2	適当	28	85%
3	短い	4	12%
	計	33	100%



「1. 長い」の意見

- ・全部で15分～20分程度で良いと思う。

「2. 適当」の意見

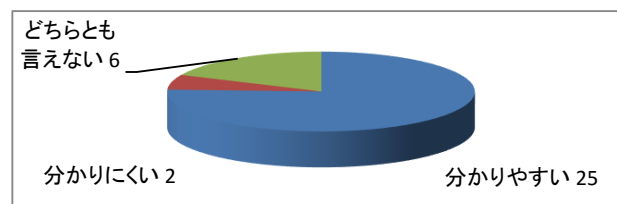
- ・長すぎると飽きられるだけだと考える。

「3. 短い」の意見

- ・もう少し詳しく説明しないと理解してもらえない。
- ・9月定例会の報告は5分では短い。
- ・テーマの件数を減らして、1件あたりにもっと詳しく時間をとった説明でも良いと思う。

(3) タブレットを使用した説明について

1	分かりやすい	25	76%
2	分かりにくい	2	6%
3	どちらとも言えない	6	18%
	計	33	100%



「1. 分かりやすい」の意見

- ・参加者に説明が分かりやすくなったと言われた。
- ・パワーポイントは見やすい。
- ・説明のときにタブレットを使わない議員がいたのは残念だった。スクリーンを使ったことは良かった。
- ・出席者が上を向いて聞いてくれるのでよかった。
- ・パワーポイントを使った説明と配付資料が同じであり、非常に好評であった。

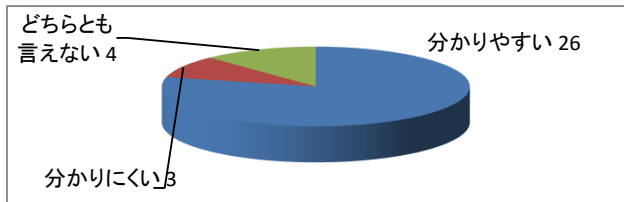
「3. どちらとも言えない」の意見

- ・説明する側からすればスムーズに出来たと感じたが、参加いただいた市民からは初めてのことで戸惑いがあったのは否めない。
- ・スクリーン使用のことと思うが、それ自体は分かりやすかった。タブレットを説明では使用していないのでは。
- ・参加者の約半数は、慣れないせいか手元の資料を見ていたように思う。

8 資料について

(1) 内容について

1	分かりやすい	26	79%
2	分かりにくい	3	9%
3	どちらとも言えない	4	12%
	計	33	100%



「1. 分かりやすい」の意見

- ・欲を言えばきりが無い。十分分かりやすかったと思う。
- ・改革度ランキングがどうやって決まっているのか資料を付けたほうがよかった。

「2. 分かりにくい」の意見

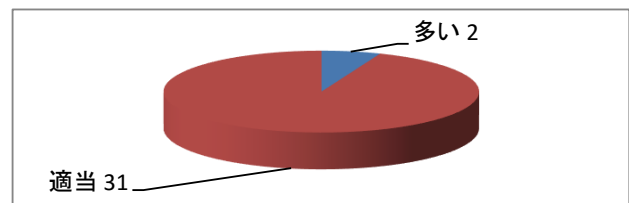
- ・スクリーンと資料が一致しないので、戸惑っている市民が多く見受けられた。詳細については、資料として後ろに付けたらどうか。
- ・9月定例会の報告は、内容が多く、議会用語も多いので市民には分かりにくいと思う。

「3. どちらとも言えない」の意見

- ・説明する側からすればスムーズに出来たと感じたが、参加いただいた市民からは初めてのことで戸惑いがあったのは否めない。

(2) 量について

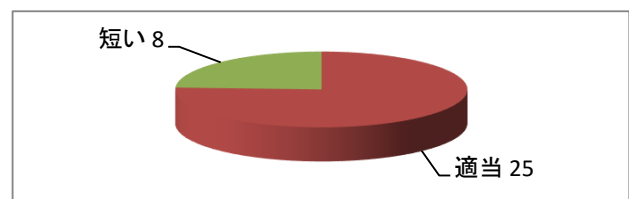
1	多い	2	6%
2	適当	31	94%
3	少ない	0	0%
	計	33	100%



9 フリートークについて

(1) 実施時間について

1	長い	0	0%
2	適当	25	76%
3	短い	8	24%
	計	33	100%



「2. 適当」の意見

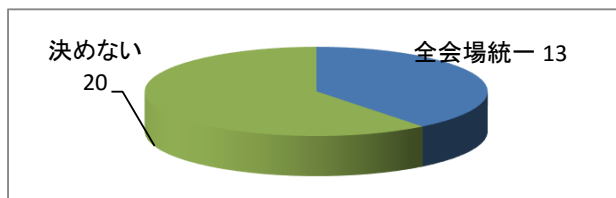
- ・1人が話している途中で他の人が関連した話をするが多かった。
- ・続けて参加している市民は慣れてきて発言回数が増えてきているため、発言者の偏りが目立った。
- ・司会者の力量が問われるので準備が必要。
- ・司会進行によって差が出る。司会の役割が重要である。

「3. 短い」の意見

- ・意見が多いので15分程度延ばしたほうがいい。
- ・盛り上がっている時に終了時間が来てしまう。もう少し時間がほしい。
- ・もう少し話をしたい感じだが、時間で打ち切られているように思われる。
- ・市民の忌憚のない意見がきけるのももう少し時間を取りたい。

(2) テーマについて

1	全会場統一	13	39%
2	会場ごとに別々	0	0%
3	決めない	20	61%
	計	33	100%



「1. 全会場統一」の意見

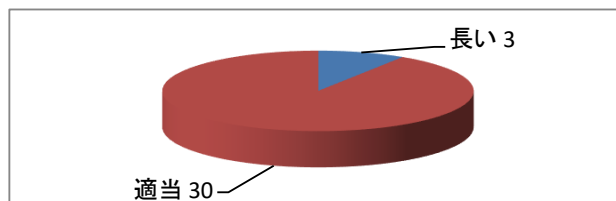
- ・統一しないと終了後に不満が出る。
- ・1～2つは統一して意見を聞きべき。今回で言えば自転車条例や議員定数など。

「3. 決めない」の意見

- ・発言したいことがあり出席しているのだから、決めない方がいい。
- ・必要と思われるテーマがあった場合(市民の意見をききたい場合)は、設定したらどうか。
- ・自由な意見が出る方がよい。
- ・自由に意見を言ってもらう必要がある。

(3) まとめの発表について

1	長い	3	9%
2	適当	30	91%
3	短い	0	0%
	計	33	100%

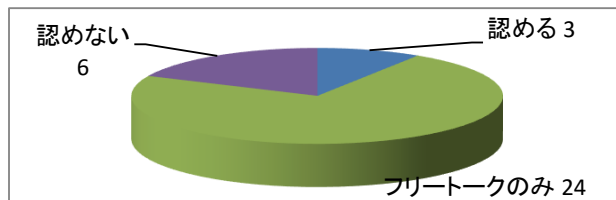


「2. 適当」の意見

- ・適当だが、短かくする努力は必要である。
- ・発表は出た意見と回答を述べるにとどめる。きりがいい。
- ・グループごとに出た意見はとても参考になった。報告者もよくまとめていた。

10 議員個人の意見を述べることについて

1	認める	3	9%
2	報告の質疑のみ	0	0%
3	フリートークのみ	24	73%
4	認めない	6	18%
	計	33	100%



「3. フリートークのみ」の意見

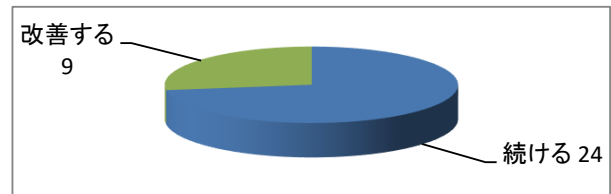
- ・基本的には認めるものではないと思うが、フリートークでは質問・答弁がその名の通りフリーなので、必然的に個々の意見になってしまう。
- ・フリートークでは認めないと話が噛み合わない。
- ・フリートークでは議員個人の意見、考えが気になって参加している方もいると思う。
- ・フリートークについては、個人の考えを出すことも必要。

「4. 認めない」の意見

- ・市議会の報告会であり、個人で開催する報告会ではない。
- ・個人の意見を求める質問が増える心配があり、一部だけを取り上げられても困る。

11 常任委員会版報告会(意見交換会)について

1	続ける	24	73%
2	続けない	0	0%
3	改善する	9	27%
	計	33	100%



「1. 続ける」の意見

- ・議員間の打合せが足りなかったせいか、時間に追われてしまったが、相手の方からもっと話がしたかったと言われて良かった。
- ・2年間は継続し、その後新たに検討する。
- ・よい試みであったと思う。
- ・国学院短大生から続けてほしいと要望されました。
- ・多様な意見が聞けたので団体との意見交換会は有意義だった。
- ・わからなかった本音の部分を聞かせてもらったのでよかった。
- ・内容については検討の余地あり。
- ・行政には言えないことが言えてよかったとの声があり。
- ・建設常任委員会での意見交換は、大変有意義だったと相手方から評価をいただいた。来年もテーマを絞って実施するべきである。

「3. 改善する」の意見

- ・報告会とは別にし、委員会活動の一部として定例化しても良いと思う。
- ・今回の様な形は、常任委員会活動として完結した方がいいのではないか。常任委員会を活かすなら、定例会での付託事項を説明した方が活動状況を市民の方に知っていただけるし、その中で意見交換も行われる。その場合も、基本は議員が地域へ出向くことだと思います。
- ・改善して続けることは良い。報告できる内容を準備する必要があるのでは。
- ・各団体との意見交換はあってもいいが、実際は要望を聞く程度となり、難しい。

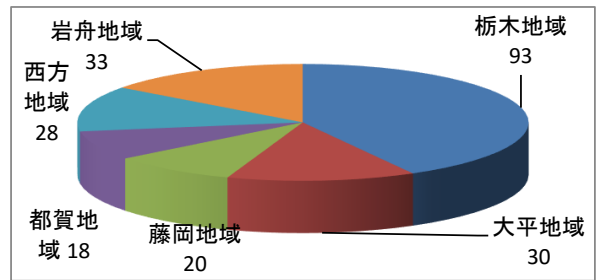
12 その他

- ・他の地域から来て個人の主張を述べる団体があった。地域の意見を聞きたいのに、その団体に時間を取られてしまう。
- ・常任委員会の意見交換会を行う場合、多くの関係団体と開催できるように回数を増やしてもいいと思う。
- ・可能ならば他の常任委員会版報告会も傍聴したい。
- ・新たな取組みが多かった今回は様々な収穫があった。まだまだチャレンジできる内容があると思うので、次年度も意欲的に動きたい。
- ・報告会総出席人数は有権者(13万6千人余)の0.4~0.5%、実人数で500~600人が現実的な目標値ではないか。ふれあいトークは19か所で開催、963名が参加している。報告会も上記の人数位ほしいところです。
- ・会場数が少なくなり、少し身が軽くなった気がする。
- ・報告に対する質疑、フリートークの答弁内容も含めて記録を作るべきである。正しくない答弁が時々あり、答弁の仕方も学ぶべきだ。
- ・もっと大きなスクリーンがあると、更に見やすい。
- ・フリートークは1人の意見が多いこともあるので、全員が話せるようにした方がよい。
- ・開催回数が減り、市民からすると近くで開催されないことが残念と思われたと感じるが、議員としては負担に感じなくなった。
- ・資料作成をしていただいた委員の皆さま、ありがとうございました。
- ・今後ともしっかり続けていくことが重要だと思う。
- ・議員が生き生きと取り組んでいた。
- ・各班の集合時間は17時30分でいいのではないか。(今回17時15分集合)※18時30分開始の場合
- ・集合時間が早すぎる。開始30分前でいい。
- ・パワーポイントの説明は今後も継続していきたい。
- ・参加者が固定化されているため、女性、若年層から興味を持たれるテーマを選定するなどが課題である。
- ・司会は重要ポイントであり、進行に影響が出やすい。共通認識を持つため、事前の打合せが必要なのでは。
- ・司会進行がうまくいかず1人の質問者が5分も質問し、内容も不明で無駄な時間を消費していた。質問は一問一答、2分以内とするなど徹底する。
- ・答弁をする議員は、自信が無い時や内容があいまいな時は他の議員にまかせる。間違った答弁、説明は議会の資質を低下させる。
- ・議員に対して厳しい意見があったが、それも意見として対応するべきだ。次回に向けて勉強することとしたい。
- ・フリートークで隣の声が入ってくるので会話に苦勞する。何とかしたい。

(2) 市民アンケート

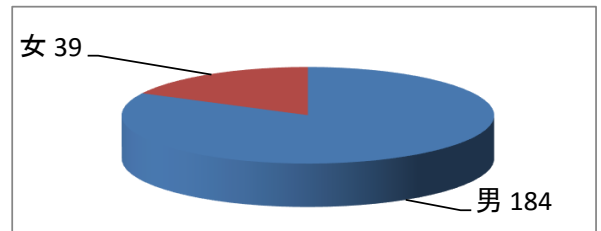
1) あなたのお住まいは？

1	栃木地域	93	41.9%
2	大平地域	30	13.5%
3	藤岡地域	20	9.0%
4	都賀地域	18	8.1%
5	西方地域	28	12.6%
6	岩舟地域	33	14.9%
	計	222	100.0%



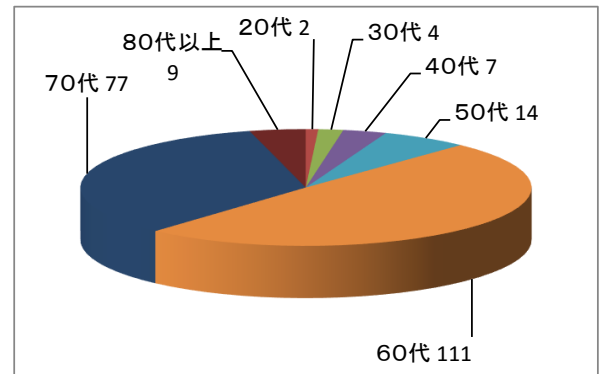
2) あなたの性別は？

1	男	184	82.5%
2	女	39	17.5%
	計	223	100.0%



3) あなたの年齢は？

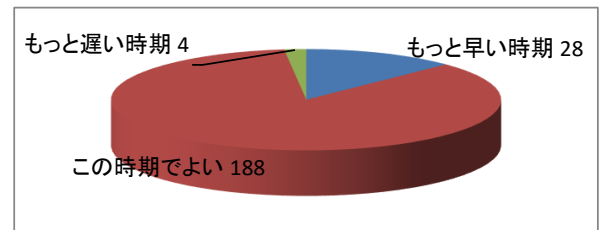
1	10代	0	0.0%
2	20代	2	0.9%
3	30代	4	1.8%
4	40代	7	3.1%
5	50代	14	6.3%
6	60代	111	49.6%
7	70代	77	34.4%
8	80代以上	9	4.0%
計	計	224	100.0%



4) 議会報告会について

(1) 開催時期は？

1	もっと早い時期	28	12.7%
2	この時期でよい	188	85.5%
3	もっと遅い時期	4	1.8%
	計	220	100.0%

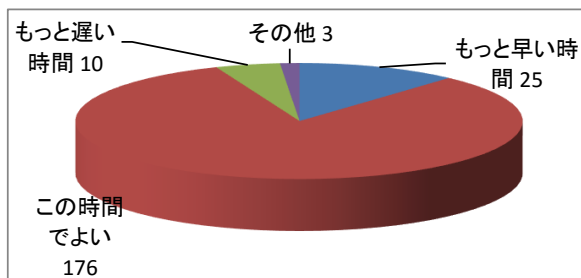


(2)開催時間は？

1	もっと早い時間	25	11.7%
2	この時間でよい	176	82.2%
3	もっと遅い時間	10	4.7%
4	その他	3	1.4%
	計	214	100.0%

その他

- ・日曜日の午後に開催してみてもいい
- ・昼間がいい
- ・日曜日

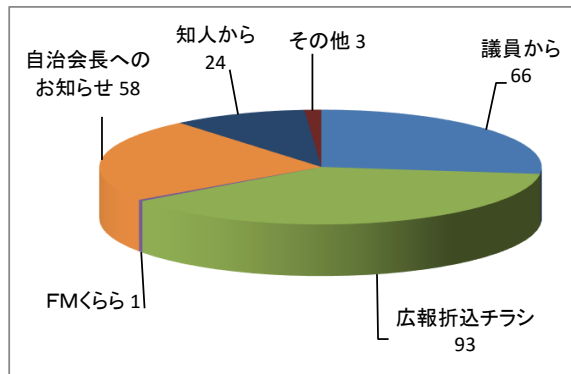


(3)開催の情報は？

1	議員から	66	26.9%
2	ホームページ	0	0.0%
3	広報折込チラシ	93	38.0%
4	FMくらら	1	0.4%
5	ケーブルテレビ	0	0.0%
6	自治会長へのお知らせ	58	23.7%
7	知人から	24	9.8%
8	その他	3	1.2%
	計	245	100.0%

その他

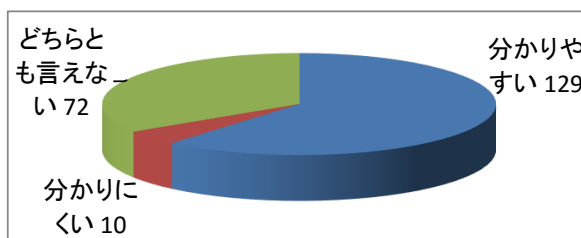
- ・栃木文化会館のチラシ



5) 議会報告について

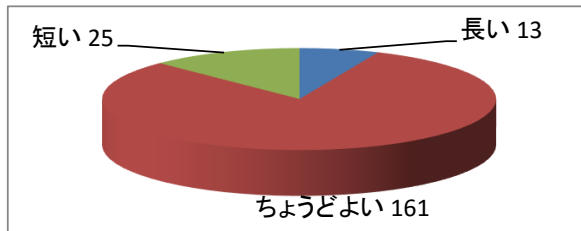
(1) 説明の内容は？

1	分かりやすい	129	61.1%
2	分かりにくい	10	4.7%
3	どちらとも言えない	72	34.1%
	計	211	100.0%



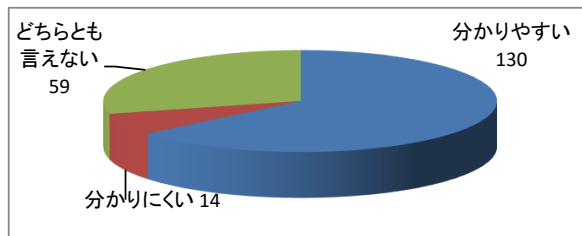
(2) 説明時間は？

1	長い	13	6.5%
2	ちょうどよい	161	80.9%
3	短い	25	12.6%
	計	199	100.0%



(3) 資料の内容は？

1	分かりやすい	130	64.0%
2	分かりにくい	14	6.9%
3	どちらとも言えない	59	29.1%
	計	203	100.0%



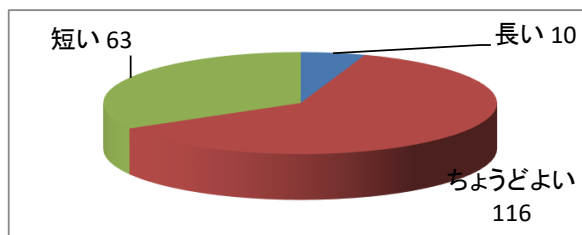
(4) 今回の報告以外でどんな報告が必要だと思いますか？

- ・決算状況 ・農業人口の減少対策 ・市議会が抱えている大きな問題
- ・市の財政状況 ・一般質問の答弁 ・メディカルセンターの状況
- ・民生委員の活動内容 ・議会情報の入手方法 各地域の問題

6) フリートークについて

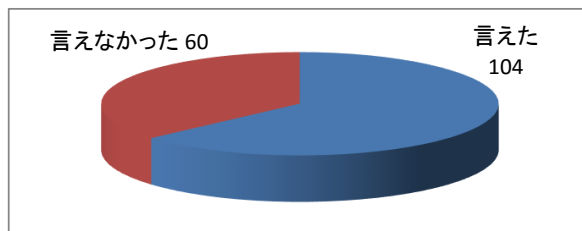
(1) 時間の長さは？

1	長い	10	5.3%
2	ちょうどよい	116	61.4%
3	短い	63	33.3%
	計	189	100.0%



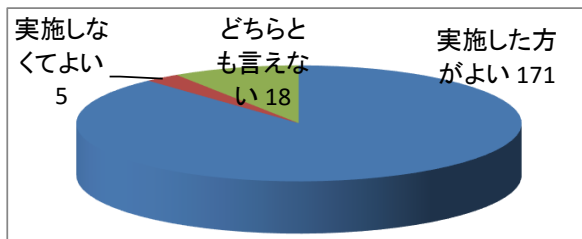
(2) 自分の意見を言えましたか？

1	言えた	104	63.4%
2	言えなかった	60	36.6%
	計	164	100.0%



(3) 今後もフリートークを実施したほうがいいのか？

1	実施した方がよい	171	88.1%
2	実施しなくてよい	5	2.6%
3	どちらとも言えない	18	9.3%
	計	194	100.0%



7) 市議会や報告会に対する意見

- ・フリートークの時間をもっと長い時間にしてほしい。参加者が発言出来るようにしてほしいです。
- ・フリートークの時間をもう少し伸ばしてください。日の短い時なので余計感じます。
- ・町内で1回しか実施されないのに参加者があまりにも少なくガッカリした。参加人数をもっと増やす方策が必要と判断します。
- ・住民の意見を反映した議案提出をもっと多くやってもらいたい。
- ・フリートーク時間が少ない。聞き取りばかりでなくもっと議論するべきだ。
- ・議員として自主的な意見行動を解決策を実践してほしい。
- ・年2回開催してほしい。吹上→寺尾→皆川
- ・報告会の会場を増やし、小さな地域単位で開催して欲しいと思います。参加者の熱意が感じられ、有効な機会でした。
- ・市議の方からの解答があったが検討するという事が多かったが、できればいつ頃迄にという答えが欲しかった。
- ・もっと少人数グループでないと話が聞こえない。
- ・現在の栃木市議会議員は適正と考えてます。人口が同じ位の他市と合わせる必要もないと日頃から感じてます。合併して議員ばかりにしわ寄せは不賛成です。旧町は忘却し全地域一体化の選挙と云うが票田の少数地域に立候補不利益と成る筈です。栃木市では非常に真剣に取り組んでいる議員さんを議会傍聴で判っております。議会報告会が昨年と比較すると19ヶ所から8ヶ所に減ってしまうのは残念です。
- ・一般質問の答弁内容も少しは説明していただきたい。
- ・年1回ではなく、2~3回/年開催されることを希望
- ・議員さんと近づいて話せた。大変意義深い事でした。
- ・全国的に政務活動費の問題がとりあげられている。議員さんは給料をもらっているのだから、栃木市は全国で初、やめたらどうですか？
- ・市の政策を市民の立場でよくチェックして頂きたい、日常の施策の評価(議案以外)でも。
- ・議員さんにはご苦勞様でした。市の為に活躍をお願い致します。
- ・テーブルを準備した方が良い(文字書きが不便、テーブルがあるのだから活用すべき)
- ・資料はカラー印刷を希望
- ・今回マイクの感度が悪くて聞きづらかったです。
- ・交通安全施策について詳細説明が少なかった。
- ・真名子地区で行ってほしかった。
- ・予算の優先順位など知りたいです。
- ・参加人数が少ない。もう少し開催のPRを検討してはどうか。
- ・フリートークに比重をかけると良い。要望意見を誠実に聞いていただき感謝です。
- ・議員の説明はことば少なくして、参加者の意見要望を多く聞くようお願いします。
- ・財政問題、将来に向けた対応を報告して欲しい(検討した上で)
- ・フリートークで皆さんの声が聞け勉強になりました。
- ・報告会の良い機会に参加する方達が少数であった。多分地域の公民館であったら相当出席者も増っていた筈との声も耳にした。昨年の19か所から4日間8か所のため会場に行けない人も多いと思う。議員定数についても総削減56名、現在34名。これらの議員数は必要と考えます。来年は、もう少し会場を増やして欲しいです。

・議会報告会の回数・場所共に少なすぎると思います。私は独身という事でこの時間でも参加可能ですが、子育て中の母親や選挙権をもつ18歳の高校生などは受験シーズンでもあり、政治に目をむける余裕はない時期で、時間帯でもあると思います。市議会でも今年からタブレット端末を利用していますが、フル活用できているのか疑問です。データが盗まれる心配があります。議会報告会資料については文字数・字の細かさが目立ち読みづらかったです。

・フリートークに関しては、人それぞれ訴えたい事はあると思います。議員さんにお話しすべき事なのか、地域会議の方に話す内容なのか見極めが難しいのも事実です。国、地方共に政治家の素質が問われる時代ですが、お体に気を付けてご活躍ください。

・議員さんを私たちが選んでいます、本当は各自治会ごとにこのような会合を開いていただきたい。原稿を読まずに自分の言葉で言ってほしい。

・大変頑張っていると思う。今後頑張ってください。

・地元の意見、要望が施実で切実で大事な時間でした。

・議案で議員提案がなく、すべて行政提案の賛否に終始するのではなく、せつかく政策研究をされるのであれば受身ではなく、市民の代表としての主体性を持つべきです。

・参加者が少ない。もったいない。

・行政に対応出来るよう、議会においても各会派が協調して勉強して頂きたい。

・無関心な世の中で一人でも多くの方が関心を持てる様に今回の報告会開催は良かったと思います。

7. 平成29年度議会報告会への提言

○開催時期について

・議員、市民両アンケートにおいて現在の時期（11月）が適当との回答が多くを占めているが、ふれあいトークとの日程調整は必要である。

○開催日時について

・現在の日時（平日の午後6時30分）での開催を基本とするが、市民アンケートにおいて少数ではあるが、昼間や日曜日の開催を希望する意見があることから、昼間および日曜日の開催について検討が必要である。

○会場数について

・19会場から8会場へ減らしたことについて、議員アンケートにおいて少ないとの回答が約3割あることから、会場数については検討が必要である。

○会場の選定について

・会場については、各地域の小学校区単位のローテーションや中心部での開催など、市民が参加しやすい場所の選定が必要である。

○班編成について

・議員の地域性を考慮することを基本とする。
・人数も含めて効率的な役割分担の検討が必要である。

○報告事項のテーマや内容について

・報告件数は3～4件、説明は1件5分程度とする。

○議会報告の資料および説明について

・市民アンケートにおいて、約3割が説明及び資料の分かりやすさについてどちらとも言えないと回答していることから、分かりやすい説明や資料の作成が必要である。

- ・タブレット、スクリーンを使用した説明については、参加者から分かりやすくなったとの声もいただいたので、より分かりやすくする工夫が必要である。

○フリートークについて

- ・市民アンケートにおいて、約3割が短かったと回答していることから時間を長く取るために、司会進行の役割が重要である。

- ・議員アンケートにおいて、テーマについて全会場統一との回答が約4割あることから、テーマ設定について検討が必要である。

○議員個人の意見について

- ・議員個人の意見については、報告に対する質疑の際は、議員個人の意見を述べることは認めないが、フリートークの際は認めることとする。

○市民への周知方法について

- ・自治会長には案内の通知を出しているが、自治会の役員や地域会議委員などにも参加を呼び掛けしてはどうか。

- ・議員自らが参加を呼びかけることが重要である。

○常任委員会版報告会について

- ・実施方法や内容について改善が必要だが、来年度も続けていくこととする。

○その他

- ・20代から40代の参加者を増やす工夫が必要である。

- ・フリートークの意見について、統一した回答方法の検討が必要である。

参 考 資 料

○議会報告会運営委員会の設置

本市議会では、平成23年3月に制定した、「栃木市議会基本条例」の第8条において、「議会は、年1回以上議会報告会を開催し、市民との意見交換を行うものとする。」と規定し、また、同条例第2条第6項において、「議会は、市民に説明責任を果たすため、市民にとってわかりやすい説明に努めなければならない。」と規定しています。

この議会基本条例による議会の役割を果たすためには、議員が積極的に地域に出向き市民との連携を図りながら説明責任を果たす取り組みが必要であります。

このようなことから、議会報告会を開催するため、議長の諮問機関として「議会報告会運営委員会」を設置するものである。

1. 名 称

議会報告会運営委員会

2. 組 織

議員の居住地ごとに選出した14人の委員で組織する。

委員会に、委員長・副委員長を置く。

任期は、議長の在任期間とする。

3. 会 議

委員会は、委員長が招集し、その座長となる。

委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことはできない。

議長は、委員会に出席し、意見を述べることができる。

会議結果は、適宜議長に報告する。

4. 検討事項

(1) 議会報告会の企画・立案に関すること。

(2) 議会報告会の開催・運営に関すること。

(3) その他

○平成28年度 栃木市議会報告会開催要領

1 開催日時

11月1日（火）、2日（水）、4日（金）、7日（月）の4日間、地域会議が設置された市内8地域で開催し、全日とも午後6時30分開始とする。

2 班編成

議員の地域性を考慮しつつ、各会場に地域外の議員が出席出来るように編成する。1班8人以上の議員で編成し、議員1人当たり2回の出席とする。

3 報告会の役割分担

報告会における役割は、班長、副班長、司会、報告者などとし、それぞれの班において協議し、調整する。（受付・マイク係・お茶係は臨機応変に対応し行う）

なお、答弁は、全員で行うものとする。

役割	留意事項
班長	・班を統括し、報告会の運営を行う。
副班長	・班長を補佐し、班長に事故あるときは、班長に代わり報告会の運営を行う。
司会	・参加者からより多くの発言が得られるように配慮することとする。 （同じ人が連続して発言することのないよう注意する） ・報告に対する質疑の際の議員個人に対する質問については、個人の意見を報告する場ではないことを理解してもらうように努める。 ・同じような質問が出た場合は、その旨を話して了承してもらう。
報告者	・報告内容をわかりやすく説明する。（参考までに口述例を配布するが、資料に基づき説明しても良い）
記録者	・後日、回答しなくてはならない質疑が出る可能性もあるため、自治会名、氏名、質疑内容、回答内容を記録しておく。（別紙4議会報告会記録簿） ・音声を録音する。
フリートーク進行役	・参加者からより多くの発言が得られ、活発な意見交換となるよう配慮する。
フリートーク記録者	・進行役を補佐し、フリートーク内の発言を記録する。 ・参加者からの発言を整理し、最後のまとめの時間に発表する。 ・音声を録音する。

4 報告会の次第

報告会は、報告の説明20分、質疑応答10分とし、フリートークを45分、まとめとしてグループごとの発表を10分程度行い、1時間30分程度で終了する。

(1) 開会 (司会)

(2) あいさつ (班長)

出席者自己紹介

(3) 議会報告(20分) (班の報告者)

- ・9月定例会について
- ・議員定数について
- ・政策研究について
- ・議会改革度ランキング、タブレットについて

(4) 報告に対する質疑(10分)

(5) フリートーク(45分)

1グループ10人程度を目安とし、参加人数に応じて臨機応変にグループ分けを行う。(議員は各グループに2人ずつ入り、進行役と書記を行い、最後にグループで出た意見を発表する。)

(6) まとめ(10分)

(7) 閉会 (司会)

5 会場準備

午後5時15分までに各会場に集合し、全職員で会場準備を行う。(午後6時受付)

6 資料

報告会での配布資料は共通資料とする。

7 会議結果等

報告会の会議結果等は、報告会終了後、各班の班長がまとめて議会事務局に提出する。

8 常任委員会版報告会

平成28年度からの新たな試みとして、常任委員会ごとにテーマを設定し、そのテーマに合った団体等、場所でフリートーク(意見交換)を行う。

(1) 開催日時

10月から11月までの期間とし、常任委員会ごとに開催とする。開催時間については、相手方と調整のうえ決定する。

(2) 会場

議会会議室、全員協議会室、市役所1階市民スペースなど

(3) テーマ

各常任委員会にて決定する。

9 その他

(1) 議員個人の意見

報告に対する質疑の際は、議員個人の意見を述べてはいけないが、フリートークの際は、議員個人の意見を述べてもよい。

(2) 資料作成班

報 告 内 容	作 成 議 員
9月定例会について	○中島 克訓・白石 幹男・広瀬 義明
議員定数について	○梅澤 米満・氏家 晃・岡 賢治
政策研究について	○針谷正夫・青木一男・小久保 かつおる
議会改革度ランキング、タブレットについて	○永田 武志・茂呂 健市・坂東 一敏

○印 班長

(3) 市民の意見等の取扱いについて

報告会における市民からの意見等については、なるべくその場において解決することとし、後日回答が必要な場合は、議会報告会記録簿の質問者への返答（要・不要）に記入することとする

(4) 執行部への提言について

報告会において出た意見のうち、特に参考とすべき事項について提言書として提出する。

議会報告会運営委員会委員名簿

◎関 口 孫一郎
○入 野 登志子
茂 呂 健 市
青 木 一 男
坂 東 一 敏
小久保 かおる
白 石 幹 男
氏 家 晃
針 谷 正 夫
広 瀬 義 明
永 田 武 志
岡 賢 治
梅 澤 米 満
中 島 克 訓

◎ 委員長 ○ 副委員長

○議会報告運営委員会 開催状況

	開催日	議題
1	平成28年7月6日(水)	・議会報告会について
2	平成28年7月20日(水)	・議会報告会内容について
3	平成28年7月29日(金)	・報告会開催要領(案)について ・今後のスケジュールについて
4	平成28年9月27日(火)	・報告会資料の検討について ・報告会チラシについて
5	平成28年10月14日(金)	・報告会資料の検討について ・自治会長への周知について
6	平成29年1月16日(金)	・報告会の検証について ・意見等の取り扱いについて ・報告書の作成について
7	平成29年2月16日(木)	・議会報告会結果報告書(案)について ・市長への提言について
8	平成29年2月27日(月)	・提言書(案)について





○9月定例会日程(9月2日から29日までの28日間)

- 9月 2日(金) 開会 (報告、議案の説明聴取など)
- 9月 6日(火)~8日(木) 一般質問(各日5名登壇)
- 9月12日(月) 総務・民生常任委員会(決算説明聴取)
- 9月13日(火) 産業教育・建設常任委員会(決算説明聴取)
- 9月15日(木) 総務常任委員会(審査)
- 9月16日(金) 民生常任委員会(審査)
- 9月20日(火) 産業教育常任委員会(審査)
- 9月21日(水) 建設常任委員会(審査)
- 9月29日(木) 閉会(議案等の討論、採決など)

○9月議会に提出された案件

報告11件

- ・ 報告第20号 平成27年度栃木市継続費精算報告書など

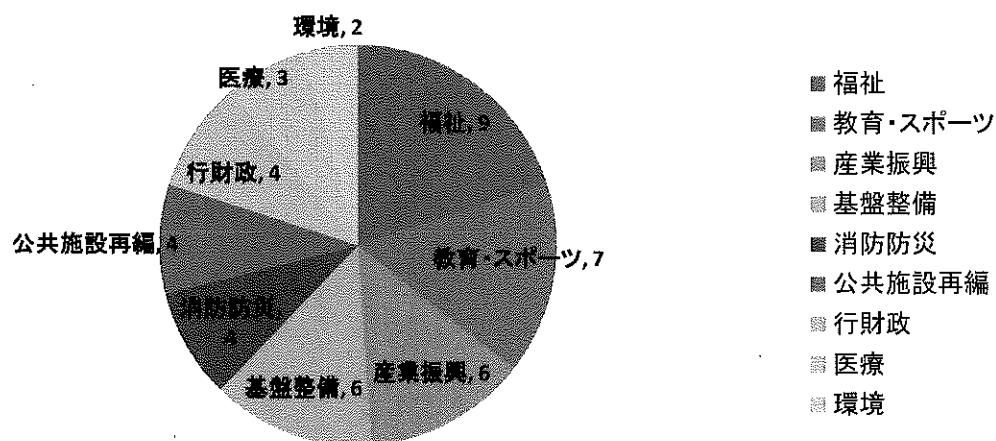
議案13件

- ・ 議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号)など

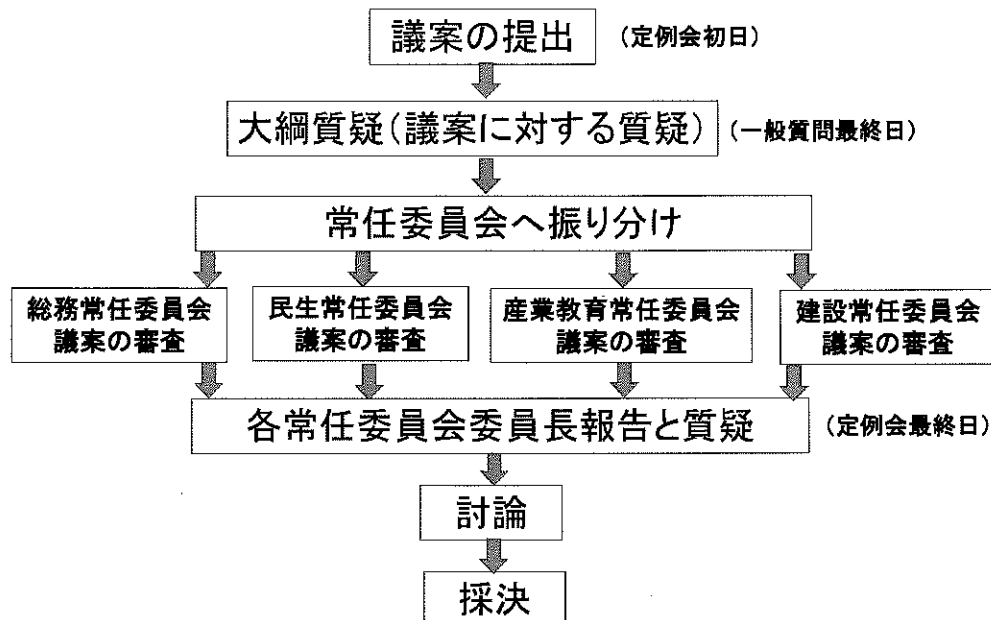
認定10件

- ・ 認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど

○一般質問



○議案審査の流れ



○各常任委員会で審査された案件

総務常任委員会

- ・議案第111号 財産の取得について 他3件
(内容)

デジタル無線機を購入し、消防団や消防本部などへの配備する。

民生常任委員会

- ・議案第110号 工事請負契約の締結について 他9件
(内容)

(仮称)いりふね・そのべ統合保育園の園舎新築建築工事の契約を締結する。

○各常任委員会で審査された案件

産業教育常任委員会

・議案第109号 栃木市中小企業者に対する融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について 他4件

(内容)

中小企業信用保険法の改正に伴い、条例の一部を改正する。

建設常任委員会

・議案第107号 栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の制定について 他7件

(内容)

再生可能エネルギー発電設備を設置する際の規制などを定める。

平成28年度栃木市一般会計・各特別会計補正予算について

(単位:千円)

議案	会計名	補正額	補正後
第102号	一般	1,518,020	66,255,068
第103号	国民健康保険	164,187	22,354,368
第104号	介護保険(保険事業勘定)	104,344	14,154,468
第105号	下水道	0	5,185,630
第106号	千塚町上川原産業団地	27,700	730,999

認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について

(単位:千円)

区分	平成27年度	平成26年度
歳入	70,398,508	68,975,421
歳出	66,398,864	64,935,678

平成26年度と比較して歳入歳出とも約14億円増加している。

(増加の主な理由)

- ・豪雨災害の復旧費や学校校舎の整備事業費の増加など

議案等に関する討論

認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

- ・関東・東北豪雨災害での被災者支援などが不十分だった。
- ・マイナンバー制度導入にはメリットがなく、プライバシー侵害などの問題を抱えている。

賛成

- ・県内初となるコミュニティFM「FMくらら857」の開局、観光情報物産館「コエド市場」のオープン、「まちなか定住促進補助制度」の創設、関東・東北豪雨の災害復旧への対応など評価すべき点は多くある。

※他4件の議案等について討論あり

採決結果

議案 13件

・ 議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号) など

⇒ 原案のとおり可決

認定 10件

・ 認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について など

⇒ 認定

9月定例会については、11月18日発行の
「とちぎ市議会だより」にも掲載されます。
ぜひ、ご覧ください！



議員定数について

栃木市議会の適正な議員定数とは？

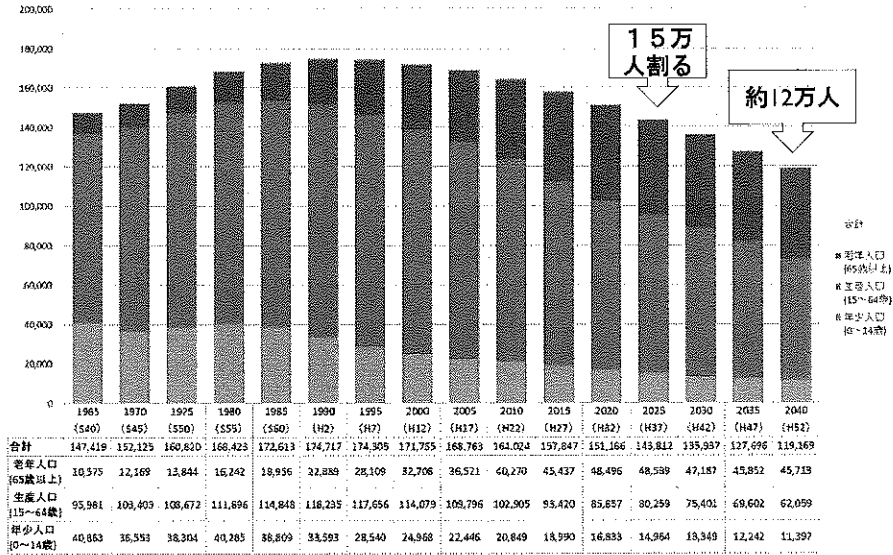
栃木市議会の議員定数の変遷

合併前	1市3町合併時 (H22.3)	西方町合併時 (H23.10)	岩舟町合併時 (H26.4)
旧栃木市 20名 大平町 18名 藤岡町 14名 都賀町 14名 計 66名	定数 31名 栃木地域 15名 大平地域 7名 藤岡地域 5名 都賀地域 4名	定数 34名 栃木地域 15名 大平地域 7名 藤岡地域 5名 都賀地域 4名 西方地域 3名	定数 34名 旧1市4町地域 30名 岩舟地域 4名
西方町 10名	→		
岩舟町 14名		→	
増減数	▲ 35名 (66名-31名)	▲ 7名 (41名-34名)	▲ 14名 (48名-34名)

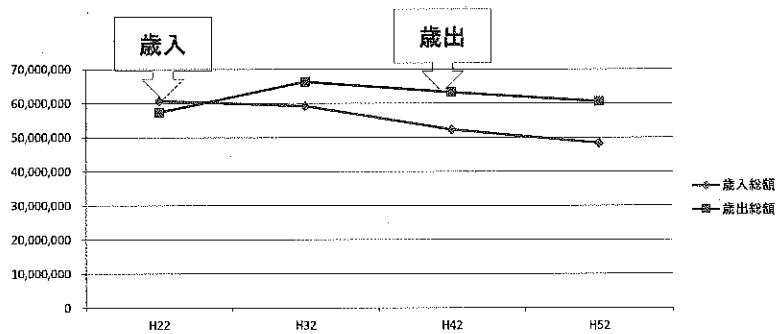
※ 旧1市5町議員数 90名 - 現議員数 34名 = 総削減数 56名

栃木市の人口推計

栃木市人口推移(年代別)



栃木市の財政推計



○歳入は、人口減少による税収減や地方交付税の削減で大幅な減少の見込み
 ○歳出は、少子高齢化等に伴う扶助費や公共施設の維持管理費等により、あまり減少しない

全国類似都市の状況

類似都市とは・・・

- 人口12万人～20万人
- 面積300km²以上
- 平成の合併を経ている

全国には類似する都市が21市ほど・・・

- ・北海道釧路市
- ・青森県弘前市
- ・宮城県石巻市
- ・長野県上田市
- ・三重県松坂市
- ・島根県出雲市 など

■ 類似都市平均と栃木市を比較してみる

	類似都市（平均）	栃木市
人口	144,288人	163,783人
面積	700.80km ²	331.57km ²
議員定数	30人	34人
議員1人当たり人口	4,895人	4,817人
議員1人当たり面積	23.75km ²	9.75km ²
人口千人当たり職員数	10.19人	8.67人
老年人口比率	26.15%	24.50%

委員会としての検討の方向性

■ 栃木市の現状と将来展望



委員会としての

検討方針 削減を前提に適正な定数の検討を行う

■ 検討上の留意事項

確保すべき議会の機能

- 1 行政監視機能
- 2 政策形成機能
- 3 議会運営機能

討論性をどう確保するか？

議決権、調査権の行使は？

専門的知識、経験の確保は？

市民意見の反映は？

政策研究について

～議会からの政策立案に向けて～

平成28年度栃木市議会報告会

議会として政策立案を目指したきっかけ

これまでの市議会

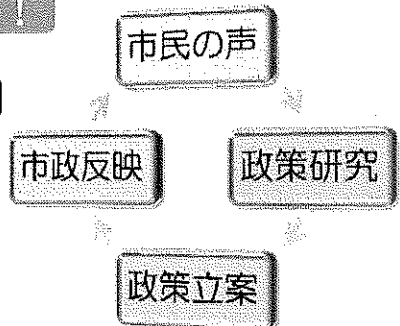
- ◆市民の生の声を聞いているが、議会が自主的に政策研究・立案する仕組みがなかった。



議会からの政策立案を！！

【議会政策研究会の設置】

- ◆政策立案機能の強化
- ◆政策提言に必要な調査研究
- ◆政策の立案 など



政策研究会の開催状況

全体会

- ◆議員全員で組織し、幹事会での調査・研究事項について議論する。
- ◆これまで1回開催し、取り組むべき課題について議論。

幹事会

- ◆議員10名で組織し、調査・研究等を行う。
- ◆平成27年12月に第1回幹事会を開催し、これまで16回開催。本市における課題を選び出した。

(選び出した課題は次ページ)

本市における政策的課題の抽出

取り組むべき課題は何か？

- ◆抽出された課題は12
 - ・小規模中小企業振興条例
 - ・公契約基本条例
 - ・議会議員政治倫理条例改正
 - ・自転車交通安全教育
 - ・議会における手話通訳導入
 - ・有害鳥獣被害対策
 - ・消防団組織の在り方
 - ・青少年健全育成条例
 - ・自転車安全利用促進条例
 - ・家庭教育支援条例
 - ・災害時における議会の役割
 - ・8020運動条例



幹事会や議員同士での活発な協議

自転車の交通安全教育や安全利用促進条例について
現在、調査・研究を行っています。

自転車を安全に利用するための条例づくり

なぜ自転車なのか

- ◆多くの市民が自転車を利用している。
- ◆エコや健康志向による使用機会の増加。
- ◆交通ルールが守られていないことが多い。
- ◆自転車過失による高額賠償事例が発生している。

現時点での構成案

- | | |
|------------------|------------------|
| 第1条（目的） | 第10条（自動車等利用者の責務） |
| 第2条（定義） | 第11条（自転車交通安全教育） |
| 第3条（市の責務） | 第12条（ 〃 ） |
| 第4条（市民の責務） | 第13条（高齢者の家族等の助言） |
| 第5条（自転車利用者の責務） | 第14条（広報及び啓発） |
| 第6条（事業者の責務） | 第15条（道路環境の整備） |
| 第7条（関係団体の責務） | 第16条（財政上の措置） |
| 第8条（自転車小売業者等の責務） | 第17条（委任） |
| 第9条（保護者の責務） | |

～おわりに～

自転車について日頃から
感じていることはありませんか？

ぜひ、ご意見をお寄せください。

議会改革度ランキング・ タブレットについて

平成28年度栃木市議会報告会

議会改革検討委員会



議会改革検討委員会 主な改革事項その①

分かりやすい議会にするために

(平成26年6月定例会から)

- 常任委員会会議録をホームページで公開

(平成27年6月定例会から)

- 一般質問の議員一人当たりの質問時間を35分から30分に短縮。
併せて、議員一人当たりの所要時間は、答弁を含めて60分を
目標とする

議会改革検討委員会 主な改革事項その②

分かりやすい議会にするために

(平成27年6月定例会から)

- 通告した質問が他の議員と重複している場合には、
受付日の翌日に、重複の調整及び再提出の機会を設ける

(平成27年12月月定例会から)

- 質疑の方法を、要旨ごとに3回ではなく、明細ごとに3回とする

(平成27年12月定例会から)

- 議案書・議案説明書をHPで公開

議会改革検討委員会 主な改革事項その③

市民の皆さまの声を聴いて、市政に反映するために

(平成27年7月)

- 議会政策研究会を設置し、政策立案機能の強化を図る

(平成27年9月)

- 請願・陳情等提出者の意見陳述を開始

議会改革検討委員会 主な改革事項その④

議会活動を活性化するために

(平成28年2月)

- 市の中堅職員との意見交換会実施要領策定
(実施に向けて準備中)

(平成28年5月から)

- 全議員にタブレットを配付し、スケジュールの共有、資料の共有、通知等の連絡の即時化、会議のペーパーレス化を図る

議会改革度調査2015ランキング

1,460の市区町村
及び県議会のうち

62位

総合順位	都道府県	議会名
1	北海道	芽室町議会
2	滋賀県	大津市議会
3	三重県	四日市市議会
.	.	.
.	.	.
.	.	.
62	栃木県	栃木市議会
.	.	.
.	.	.
.	.	.
1,460	.	.

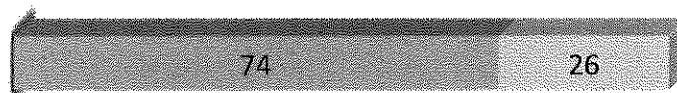
政務活動費

議員一人当たりの政務活動費

月額3万円×12カ月＝36万円

(平成27年度)

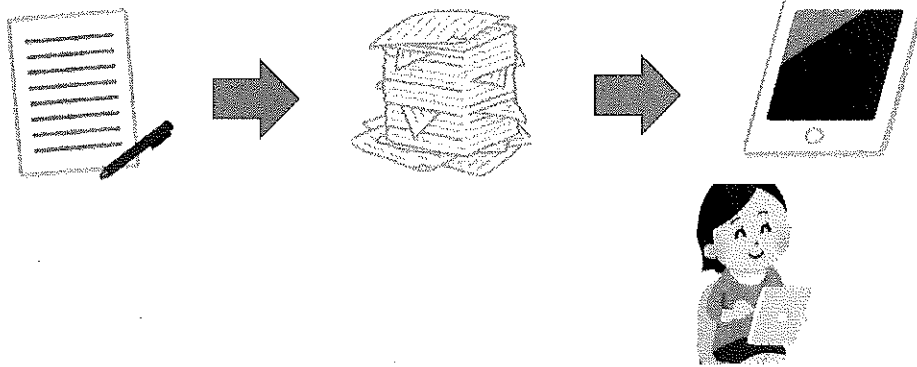
執行率 約74%



■ 執行分 ■ 未執行分(=返還分)

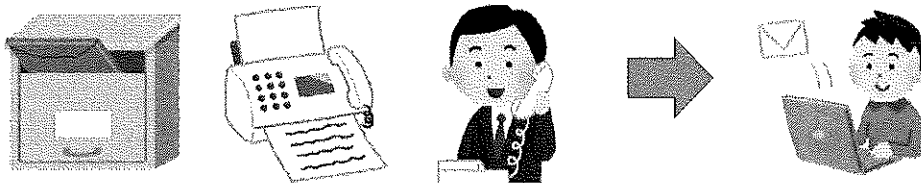
タブレットの導入

① 紙からデータへ



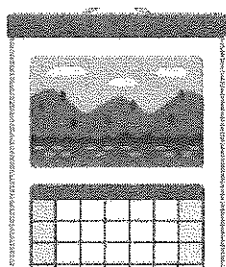
タブレットの導入

② 「郵送、FAX、電話、連絡用ボックス」からメール中心に



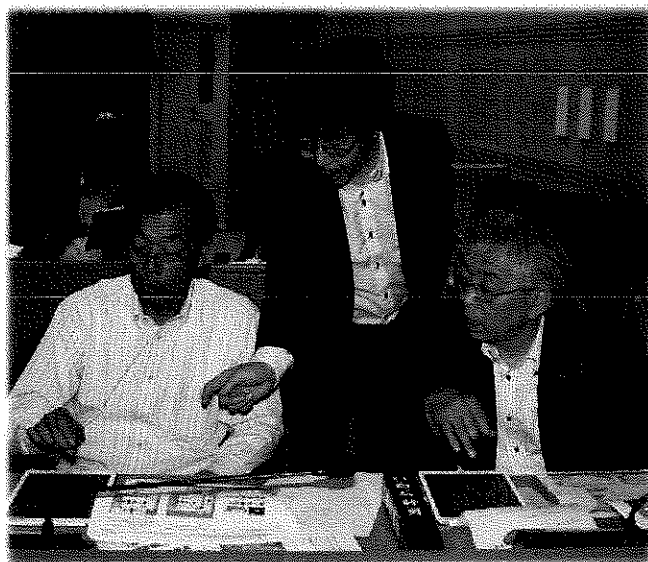
タブレットの導入

③ カレンダーを共有



タブレット講習会 (5月23日)

タブレットを箱から
出して電源を入れる
ところから...



現在の 会議の様子

タブレット中心で
会議を進めています



おわりに

今後とも、市民の皆さまの声を市政に反映できますように、
より一層の議会改革を進めてまいります。



○9月定例会に提出された案件

報告11件

- 報告第20号 平成27年度栃木市継続費精算報告書
- 報告第21号 平成27年度栃木市水道事業会計継続費精算報告書
- 報告第22号 平成27年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- 報告第23号 専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)
- 報告第24号 専決処分事項の報告について(和解の決定)
- 報告第25号 専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)
- 報告第26号 専決処分事項の報告について(損害賠償の額の決定)
- 報告第27号 栃木市土地開発公社の平成27事業年度事業報告書の提出について
- 報告第28号 一般財団法人藤岡町農業公社の平成27年度事業状況報告書の提出について
- 報告第29号 一般財団法人都賀町農業公社の平成27年度事業状況報告書の提出について

議案13件

- 報告第30号 株式会社観光農園いわふねの平成27年度経営状況説明書の提出について
- 議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号)
- 議案第103号 平成28年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第104号 平成28年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)
- 議案第105号 平成28年度栃木市下水道特別会計補正予算(第1号)
- 議案第106号 平成28年度栃木市千塚町上川原産業団地特別会計補正予算(第1号)
- 議案第107号 栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の制定について
- 議案第108号 公の施設の相互利用に関する協定の締結に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 議案第109号 栃木市中小企業者に対する融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第110号 工事請負契約の締結について
- 議案第111号 財産の取得について
- 議案第112号 平成27年度栃木市水道事業会計剰余金の処分について
- 議案第113号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第114号 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

認定10件

- 認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 平成27年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 平成27年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 平成27年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 平成27年度栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 平成27年度栃木市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第7号 平成27年度栃木市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第8号 平成27年度栃木市医療福祉モール特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第9号 平成27年度栃木市千塚町上川原産業団地特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第10号 平成27年度栃木市水道事業会計決算の認定について

○各常任委員会で審査された案件

■総務常任委員会 【付託された議案とその審査概要】

◎議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号) (所管関係部分)

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第108号 公の施設の相互利用に関する協定の締結に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

※提案理由

関東どまんなかサミット会議構成市町(栃木市・野木町・古河市・加須市・板倉町)による公の施設の相互利用に関する協定の締結に伴い、同会議構成市町の住民が市民と同額の使用料により公の施設の一部を利用することができるようにするため。

・適用になる公の施設

栃木市勤労者体育センター、栃木市渡良瀬の里、栃木市老人福祉センター、栃木市勤労者総合福祉センター、栃木市公園有料公園施設、栃木市体育施設

※審査概要

・構成市町の住民が本市の施設を利用した場合の使用料や利用者数の見込みについて討論なく、全会一致で、原案の通り可決すべきものと決定

◎議案第111号 財産の取得について

※提案理由

常備消防及び消防団相互の通信を可能とするため、デジタル簡易無線機を購入する。

・固定型：6台 車載型：1台 携帯型：271台

・取得予定価格 42,984,000円

※審査概要

・携帯型デジタル簡易無線機の配備先について ・無線機配備によるメリットについて

・これまで使用してきた受令機の処分について

討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管関係部分)

※審査概要

・統合型地理情報システムの全庁的導入の考えについて

・藤岡遊水池会館施設整備の整備内容について ・固定資産台帳の整備の目的について

・自動車取得税交付金に関し、対前年度比で大幅な増額となった理由について

討論なく、全会一致で、認定すべきものと決定

■民生常任委員会 【付託された議案とその審査概要】

◎議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号) (所管関係部分)

◎議案第103号 平成28年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

◎議案第104号 平成28年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)

※審査概要

3議案とも、若干の質疑応答がありました。

3議案とも、討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第110号 工事請負契約の締結について

※提案理由

(仮称)いりふね・そのべ統合保育園園舎新築建築工事の工事請負契約を館野・清田特定企業体と締結するため。

- ・工事概要 鉄骨造平屋建て 延べ床面積 1463.4㎡
- ・契約金額 416,880,000円

※審査概要

- ・工事の総額について
 - ・園児の安全面に配慮した設計について
 - ・落札業者以外の予定価格に対する率で最も高い業者の率について
- 起立採決の結果、賛成多数で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管関係部分)

※審査概要

- ・交通指導員の年齢制限について
 - ・証明書コンビニ交付の交付件数について
 - ・マイナンバーカード紛失時の対応について
 - ・人権同和対策の法的根拠について
 - ・就学前障がい児等発達支援に対する専門職員の配置場所について
 - ・嘱託と臨時の保育士の賃金の見直しについて
 - ・災害廃棄物処理事業の処理の内容について
- 起立採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定

◎認定第2号 平成27年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

◎認定第3号 平成27年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

◎認定第4号 平成27年度栃木市介護保険特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算の認定について

※審査概要

3議案とも、若干の質疑応答がありました。

3議案とも、起立採決の結果、賛成多数で、原案のとおり認定すべきものと決定

◎認定第5号 平成27年度栃木市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)歳入歳出決算の認定について

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

◎認定第8号 平成27年度栃木市医療福祉モール特別会計歳入歳出決算の認定について

※審査概要

- ・土地売却の状況について
 - ・医療福祉モールの成果について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

■産業教育常任委員会 【付託された議案とその審査概要】

◎議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号) (所管関係部分)

※審査概要

- ・首都圏農業確立対策の施設整備や農業用機械整備に対する補助金の補助率について

- ・ 栃木文化会館の小ホール系統空調機更新工事の工事期間について
 - ・ 自治会公民館新築費用に対する補助金について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第106号 平成28年度栃木市千塚町上川原産業団地特別会計補正予算(第1号)

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第109号 栃木市中小企業者に対する融資に関する条例の一部を改正する条例の制定について

※提案理由

中小企業信用保険法の一部改正に伴い、栃木市中小企業者に対する融資に関する条例の一部を改正するため。

- ・ 中小企業者の定義を改めること。

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管関係部分)

※審査概要

- ・ 青年就農補助金の概要と実績について
- ・ 道の駅にしかたの借地の買い上げについて
- ・ 有害鳥獣対策事業の事業の効果について
- ・ 栃木インター周辺開発事業の事業の開始時期とこれまでに要した予算額について
- ・ 企業誘致事業の事業内容と成果について
- ・ 国際観光まちづくり事業の27年度に取り組んだ内容について
- ・ 小学校洋式トイレ改修事業のこれまでの実施状況について
- ・ アナフィラキシーショックを起こしやすい児童生徒の把握状況について
- ・ 各施設の自動販売機設置収入について

討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎認定第9号 平成27年度栃木市千塚町上川原産業団地特別会計歳入歳出決算の認定について

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

■建設常任委員会 【付託された議案とその審査概要】

◎議案第102号 平成28年度栃木市一般会計補正予算(第2号) (所管関係部分)

※審査概要

- ・ 市道233号線(永宮橋)橋りょう整備事業の見通しについて
- ・ 定住促進支援事業費の結婚新生活支援補助金の事業内容について
- ・ まちなか定住促進住宅新築等補助金の事業内容について

討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第105号 平成28年度栃木市下水道特別会計補正予算(第1号)

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第107号 栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例の制定について

※提案理由

自然環境、景観及び生活環境の保全及び形成と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和を図るための条例を制定する。

※審査概要

- ・事業廃止又は発電事業終了に伴う原状回復措置について
 - ・施行日までに着手する事業者への対応について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎議案第112号 平成27年度栃木市水道事業会計剰余金の処分について

※提案理由

平成27年度栃木市水道事業会計未処分利益剰余金1,265,197,418円のうち750,000,000円を資本金に組み入れ、515,197,418円を減債基金に積み立てるため。

※審査概要

- ・剰余金の妥当性について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり可決すべきものと決定

◎認定第1号 平成27年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について(所管関係部分)

※審査概要

- ・市有建築物定期点検業務の点検項目について
 - ・生活排水処理構想見直し業務の見直しの内容について
 - ・市道〇-345号線アンダーパス警報装置の警報が表示される水位について
 - ・道路維持の補修方法について ・道路新設改良の優先順位について
 - ・公園の管理方法の統一について ・空き家撤去費用補助金の実績について
 - ・道路橋りょう災害復旧の状況について
 - ・公園使用料(栃木)の太平山自然公園の飲食店数と金額について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

◎認定第6号 平成27年度栃木市下水道特別会計歳入歳出決算の認定について

※審査概要

- ・東電原子力発電所事故による損害賠償金の概要について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

◎認定第7号 平成27年度栃木市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について

※審査概要

質疑討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

◎認定第10号 平成27年度栃木市水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

※審査概要

- ・収益的収入及び支出に関し、収入の予算額に比べ決算額が増加した要因について
 - ・資本的収入及び支出に関し、支出の不用額の概要について
- 討論なく、全会一致で、原案のとおり認定すべきものと決定

フリートークにおける意見、要望、回答

○西方公民館 11月1日(火)

Q：議会改革度ランキングはどのように決めているのか。

A：早稲田大学マニフェスト研究所が調査を行っている。議会報告会、タブレットの使用、市民に開かれた議会かなどの項目について、各議会のアンケートを集計している。



要 栃木市の知名度を上げてもらいたい。

Q：富山市議会の政務活動費不正使用のようなことは、栃木市ではないのか。

A：栃木市のルールは厳しく、事務局でも厳しくチェックしている。栃木市ではありえない。

Q：議員の研修旅行はないのか。

A：旅行はない。

要 防災無線は5時になると市歌が流れ、時間がわかるのでよい。

Q：真名子地区での報告会はなぜなくなったのか。

A：議員のアンケートで会場数を減らし、中身を濃くしてやってみようとなった。

Q：変則した交差点に信号機を付けてほしいと、10年前に頼んだのだが。

A：栃木市内で年間1個か2個しか付けられない状況である。

Q：千塚町上川原産業団地の分譲は始まったのか。

A：始まっている。

要 都賀、西方地域でも雇用の確保をお願いしたい。

要 防犯灯を3カ所付けてもらったが、夜はまだ道路が暗いので増やしてほしい。

要 防災無線を午後5時だけでなく、正午にも流してほしい。

Q：真名子地区では防災無線が聞こえない家が3軒ある。防災無線が聞こえない家ではラジオの購入を勧められているが、電波が届かない。

A：防災無線のボリューム調整、電波状況の調査について執行部へ要望する。

Q：国保税の収納率を上げてもらいたい。お金が無いから払えないでは困る。

A：一般質問や常任委員会で執行部をお願いしている。執行部でも努力している。

Q：豪雨災害により崩れた西方総合公園野球場付近の崖崩れの復旧を急いでほしい。

A：災害復旧については国からも予算が出ているので、修復できるはずである。

Q：議会中にタブレットでインターネットをやっているのではないか。名前を公表してほしい。居眠りをしている議員が目につく。

A：タブレットを使用して資料を閲覧している。誤解のない使い方をしたい。居眠りについては、注意したい。

Q：真名子地区にできるメガソーラーは、全自治会が影響を受ける。条例で規制できないのか。調整池もなく、水害の心配もある。

A：来年4月から条例が施行されるが、開発を縛ることはできない。安易に開発が出来ないような条例への見直しを執行部へ要望する。

Q：オリン晃電社の問題は勝訴するように頑張してほしい。豊洲問題の小池知事はマスコミを利用して活躍している。栃木市も見習ってはどうか。

A：現在は2審裁判中で豊洲問題とは少し異なる。裁判中のため情報開示は難しい。

要 地域会議の意見と地域の声が違うことがある。地域の声は反映させるよう、調整をお願いしたい。

要 西方なかよしこども園では、正規の保育士職員が少ない。非正規の職員が多い。正職員をもっと増やすべきだ。

要 市内でフリースクールを運営しているが、行政として改善、もっと支援して欲しい。高根沢町の取り組み等素晴らしい。見習ってもらいたい。

要 とちぎメディカルセンターの状況について、議会としてしっかりチェックしてもらいたい。

Q：西方地域には下水道施設はいつ頃出来るのか。

A：市街化調整区域には原則建設はない。西方地域は非線引きでもある。従って栃木市は合併浄化槽にての処理を推奨しており、その補助金も出している。

Q：大塚町の山田うどん交差点の南北方向通行は、朝夕の混雑がひどい状況にある。改善出来ないのか。

A：担当課に伝えて、改善を要請する。

Q：栃木市には都市計画区域が二つある。西方地域とそれ以外の地域である。西方地域は非線引きとなっている。

A：一つにすべきなのだろうが、メリット、デメリットを考えて一つにするかどうかも含めて検討しなければならない。

○栃木文化会館 11月1日(火)

Q：栃木地域で大通りとその近辺が自転車の交通が危険である。専用道路を設置してもらいたい。

A：対応を要望していく。

Q：メディカルセンター内にフロアスタッフを置いてもらえないか。

A：一般質問でも要望中である。対応を要望していく。



要 メディカルセンター駐輪場に屋根を設置して欲しい。

要：メディカルセンターに設置されているふれあいバスの時刻表の文字が小さくて見えない。

Q：政策研究の課題として現代社会を捉え、市としてこれから必要となるインフラ整備や政策を勉強して欲しい。

A：政策研究会の趣旨をご理解いただきたい。議会でそのような議論ができるようにしていきたい。

要 学校運営協議会の役割について、きちんと説明してもらいたい。教育委員会で聞いたら説明してもらえなかった。

Q：民生委員の選定が非常に大変である。なにか良い方法がないか。

A：担当部署に伝え、対策を議会も共に考えていく。

Q：県道小山栃木都賀線の進捗状況が地権者には説明があるが、近隣住民には説明がない。

A：道路計画のある地域への説明等の充実を担当部署へ要望していく。

Q：議会報告会で出した意見には、何らかの返事がほしい。

A：きちんと回答する。

要 渡良瀬遊水地にしめる面積の割合は、栃木市の方がはるかに多いが、イベントなどでは小山市が目立っている。栃木市も頑張ってもらいたい。

要 自転車のマナーについて道路の整備も必要である。マナーについては、教員への教育をもっとしっかりやらしてもらわないと、良くならない。

要 自転車のマナーについては、ソフトとハードの両方が必要だ。錦着山近くは、バイパスを横断できないところもある。現状分析をもっとやって市民と一緒に盛り上げて頂きたい。

Q：新聞で、烏山の山あげ行事と鹿沼の屋台行事がユネスコ無形文化遺産に登録されるとの報道があった。栃木市の山車も立派なものであると思うがその取り組みはされているのか。

A：執行部に要望していく。

要 青い自転車専用の道路は作っても良いが、見直してほしい場合がある。片柳町には、車道・自転車専用の道路・スペース・歩道の順に並んでいるところがあるが、以前よりも自転車が車道に近くなってしまった。

要 子どもは警官がいると交通ルールを守るが、いなくなると守らない。私服警官に見に来てほしい。

要 鍋山街道から栃木中央小方面に毎日通勤しているが、途中狭くて危ないところがある。児童が犠牲になる事故は、栃木市にもいつ起きかわからない状態である。真剣に対策して頂きたい。

要 スクールガードの後任が見つからず困っている。住民の方には、子どもの見守りのために出てきてほしいとお願いしているがでてもらえない。市からも呼びかけをしてもらいたい。

要 大町で自主防災組織を立ち上げて活動している。以前からある水源を利用して非常時の水を確保する工事を計画したが、1600万円かかることになり、予算化にいたらなかった。いざという時に、飲料水の確保は重要で市民も関心が高い。単に予算がないではなく対策が必要ではないか。

要 メディカルセンターしもつがは、救急の機能が果たされているのか心配である。病院経営が心配である。医者への患者へ対応は良い話が聞こえない。医師の数が不足しているのではないか。不足しているのであればその対策をどのように考えているのか。市としても多額の補助金を出しているのだから、真剣に考えて頂きたい。

要 背中に腫れ物ができてメディカルセンターしもつがに行ったら、整形外科の先生が不在といわれ、次回来るのは2週間後と言われた。その日に別の病院ですぐに切ってもらった。2週間は待てない。

要 メディカルセンターしもつがに入った救急車が、栃木の急患センターに回されたという話がある。これは問題ではないか。救急体制はしっかりしてほしい。

○吹上公民館 11月2日(水)

Q：国からの補助金について、地元国会議員とのパイプが必要ではないか。

A：地元国会議員にしっかり要望していく。

Q：人口減少対策で壬生町のように大企業を誘致し、税金を免除するなどの対策をできないか。

A：人口減少対策として、空き家対策の補助金がある。



Q：議会報告会の数がなぜ8カ所に減ってしまったのか。小山市のように春に開催し、予算化につなげることはできないか。

A：地域会議の区割で8カ所にした。春の開催は難しい。

Q：国への補助金の要望について、市長や部長が国へ足を運んで要望すべきと思うが、現状は。

A：都市整備部長は国交省から来ている。市長や部長は国へ足を運んで要望している。

Q：栃木市は南摩ダム建設になぜ反対しないのか。10年後の水不足に備えてとっているが、説得力がない。

A：地下水は使えるうちは地下水を使う。漂流水を使うと水道料金が高くなる。

Q：消防のデジタル簡易無線機の配備内容と購入理由は何か。

A：固定型6台は本部及び各分署、車載型1台は本部指揮車、携帯型は消防団部長以上に配備された。購入理由は今年の豪雨災害で常備消防と消防団との間で不都合が生じたためである。

Q：登下校時の交通事故をなくすために、栃木市はどんな対策をしていくのか。子どもを守る対策をもっと取ってほしい。

A：通学路をスクールゾーンやゾーン30に指定し、車の乗り入れやスピードの抑制をしている。また、歩道をグリーンに塗色、ガードレールの設置などを進めている。通学路に指定されている生活道路の改修について、担当課に伝える。

Q：少子化対策とインター周辺の開発はどうなっているか。

A：少子化対策については、企業誘致を進め雇用確保及び医療機関や保育所などの充実を図り、子育てしやすい環境をPRし、若者の定住を図っていく。

インター周辺開発は、地権者の同意を進めている。

Q：獣害対策はどうなっているか。

A：電気柵への補助、狩猟免許・わな設置資格免許取得への補助制度がある。

Q：大森町区画整理地内の公園の除草は、合併前は市でやっていたが、合併後は自治会でやっている。どちらがやるのかをはっきりさせてほしい。

A：担当課に伝える。

Q：永宮橋の工事の予定は。

A：今年度は西側の橋げた工事が行われる。渇水期しか工事が出来ないので、完成までに1～2年かかる。

Q：うづま荘の裏を流れる巴波川の下流の工事の進捗状況は。

A：用地買収の段階である。県の事業なので、県が下流から上流に工事を進めている。

要 都賀・西方スマートインター完成後の周辺開発についても取り組んでもらいたい。

Q：都賀から抜ける平柳・大宮の立体交差工事により危険箇所がある。開通はいつになるのか。

A：1 2月開通見込みのため、危険箇所は解消されると思う。

Q：市では獣害対策をやっているが、追いつかない状況である。さらなる対策を望む。

A：担当課へ伝える。

Q：市道の舗装状況が悪いので、予算確保を望む。

A：担当課へ伝える。

Q：防災ラジオの申し込みをしたが、すぐに売り切れてしまった。

A：今年度中に再度販売する。

Q：空き家対策の補助金の内容は。

A：取り壊し費用の半額が上限50万円が出る。まずは住宅課へ相談してみてください。

Q：防災無線で市歌ではなく、ソフトなチャイムにしてほしい。

A：担当課に伝える。

Q：吹上地区では防災無線がよく聞こえない場所がある。場所はどう決めているのか。

A：設置場所を増やしていく予定である。

要 防災無線の設置場所を知らない市民が多い。広報で周知してほしい。

Q：県道栃木粕尾線の大久保バイパスに穴が開いている。

A：土木事務所に伝える。

Q：斎場建設の予定は。

A：岩舟地域に建設予定である。

Q：県道栃木栗野線で大型車が迂回しては意味がないのでは。

A：土木事務所に伝える。

Q：カーブミラー設置の申請をしたが、対応が遅い。

A：担当課に伝える。

Q：自治会長もペーパーレス化してほしい。

A：合意形成が出来ないと難しい。

Q：神社の高額な補修に市から補助金はないか。

A：担当課で確認してほしい。

○岩舟公民館 11月2日(水)

Q:フリートークでの質問・意見・要望への回答をほしい。
時間を要すなら、次年度の資料に添付してほしい。

A:次年度の資料添付を検討する。

Q:メディカルセンターしもつがの駐輪場に屋根をつけてほしい。ふれあいバスの停留所の時刻表の文字が小さくて見にくい。病院内の案内表示が分かりにくい。

A:定期的な会合で市側に伝える。



Q:豪雨災害に対する市の対策がみえにくい。

Q:岩舟駅周辺の開発はどうなっているか。

A:駅南側については、今年度予算を計上している。西側についても市に要望していく。

Q:自治会加入の問題についてどう考えるか。特にゴミの問題が大きい。

A:強制的に加入させることは出来ないので、自治会加入のメリットを説明していくことになる。

Q:再生可能エネルギー開発の管理はどうなっているか。

A:県の指導により管理を行っている。市は県と同様に行っている。

Q:議会改革度ランキングを上げるにはどうしたらいいか。

A:議会報告会を積極的に行い、内容の充実を図る。また、政務活動費の透明性を高めていくことである。

Q:図書館に勉強を教えられる人材の配置をしてはどうか。

Q:静和駅前から商店がなくなり不便である。

A:静和駅前の再開発が動きだそうとしているが、具体的には何も進んでいない。再開発の中で考えていきたい。

Q:静和地区公民館敷地の再整備をして、地域住民の広場としてほしい。

A:旧静和小学校敷地全体の見直しが必要である。地域からもグランドゴルフ場整備の要望などが出ている。

Q:斎場整備反対の看板が三谷地区で出ているが、どうなっているのか。

A:境界確定、土壌調査、環境調査を行っている。地元の皆様には特に理解してもらいたい。

Q:旧市道I324号線に歩道をつけてほしい。遊楽々館まで行きやすくなる。

A:農道があるので難しいとは思いますが、市に伝える。

Q：マイナンバーは取得しなければいけないのか。

A：強制ではない。

Q：県道桐生岩舟線に立っていた円仁誕生地の看板が無くなっている。看板を立ててもらいたい。

A：市に強く要望する。

Q：岩藤大規模開発はどうなっているのか。

A：計画は進んでいないが、佐野藤岡インター周辺の開発計画が進みだしたと聞いている。国道50号線南は発展可能性が高い地区なので、市に強く要望していきたい。

○大宮公民館 11月4日（金）

Q：人口減の地域の問題、自治会の問題が取り上げられないのは寂しい。最も大切な取り組みを抜かしているのではないか。大事な問題に取り組んで欲しい。

A：宿題として受け止めていきたい。



要 消防団員が集まらない。自分の地域では15名のところ10名しか集まらない。報酬及び出動手当1回3千円は見直してほしい。

Q：千塚町の産業団地は11月から予約分譲の受付が始まっているが、完売の見込みはあるのか。具体的な応募の会社名が判れば教えて欲しい。又、地下水を使用する飲料水関係の会社は入れないで欲しい。地下水の減少が不安である。

A：応募の会社は少なからずあるようだが、具体的な会社名は聞いていない。

要 防災ラジオが自治会長・民生委員には配布されたが、丸投げである。その活用についてはマニュアル等を整備し、きちんと引き継がれるようにして欲しい。

要 合併後の小中学校の通学区域の見直しを早急に、スピード感を持って取り組んで欲しい。

要 東陽中学校の運動場拡張計画を早急に実行して欲しい。

要 民生委員の任期末が11月になっているが、他のいろいろな任期と同様に3月末とするべきだ。検討して欲しい。

要 栃木市の最重要課題は少子化問題である。若い人が結婚できるように行政はしっかりと婚活事業に取り組んで欲しい。子育てにお金がかからないように、しっかりと補助金を出して出産が出来るようにするべきだ。

要 とちぎメディカルセンターが建設されてしばらく経つが、場所がよくわからない。案内看板

が少ない。大きく良くわかる看板を多く設置して欲しい。更に、メディカルセンターの収支を心配している。

Q：議員定数は30人のような話があった。もう少し少なくしたらどうか。

A：現在その数については検討中である。あまり少なくすると地域住民の意見の反映ができにくくなる面もある。

要 選挙投票時間の短縮を考えたらどうか。午後5時以降の投票者はあまり来ない。投票時間は午前8時～午後5時くらいにしたらどうか。期日前投票所は、特に短縮を考えて欲しい。ムダな費用は節約すべきだ。

要 地元の問題だけでなく、市全体のことをしっかり考える議員であって欲しい。

Q：歩道に電柱があり通行の邪魔になっている。

A：行政に相談してほしい。

Q：市道1033号線は狭くて危険である。完成を急いでほしい。

A：地権者の同意が得られ工事が始まっている。

Q：昨年の水害後の新しいハザードマップは配付されたのか。

A：検証、見直しはしたが、配付には至っていない。

Q：空き家問題について対策をお願いしたい。

A：行政も議会も大きな関心事であり、対策は打ち出している。行政に伝える。

Q：河川河床の管理をお願いしたい。

A：予算の関係もあり、順を追って管理している。行政に伝える。

Q：永野川のポイ捨てが目立つ。ポイ捨て禁止条例を作してほしい。

A：同趣旨の条例が制定されることが決まった。

○大平健康福祉センター 11月4日（金）

Q：県から、道路計画に合わせて自分の所有する農業用水路に雨水を流させて欲しいと相談があった。しかし、農業用水路はその機能は皆無に等しく、受け入れたら大変な事態になる。対策をお願いしたい。

A：ご要望の地域の北部に位置する片柳町、菌部町地内の雨水対策計画が昨年発表された。老朽化した片柳町市営住宅を貯水池とする事や複数年かけて計画を進める予定である。

Q：学校耐震補強などは各校舎進んでいると思うが、緊急災害時に使用する非常階段など劣化が目立つのでは。また、洋式トイレの整備や通学路の危険箇所などの見直しなどは。

A：学校の施設点検や、防犯防災マニュアルなどの作成を教育委員会も検討中である。教育委員会に要望し、議会も共に対応を考えていく。

Q：議員定数は、他市と比較する中で、削減を主とするのではなく現状維持を望む。合併して各地域の声を拾っていける形を要望する。

A：検討委員会にて検討しているが、この報告会での市民の意見も参考にさせていただく。

Q：報告会の開催箇所が減ったが増やして欲しい。また、資料も簡素化されたが従前に戻して欲しい。

A：報告会運営委員会にて、今回の検証を行う。要望として受け止める。

Q：地域ささえあい活動推進条例の施行後、市の主体的なビジョンが見えてこない。現状では、単に名簿を作成するだけの内容になってしまう。議員はどのように考えているのか。今のままでは、自治会任せ、自治会に丸投げと感じている。

A：これから官民一体となって条例に基づく事業を推進できるよう取り組んでいくものと認識している。

Q：栃木市は他市町と災害時の協定を結んでいるのか。

A：加須市などと結んでいる。

要 ふれあいバスについて、北武井を通るルートに見直してほしい。

Q：議員定数については、定数を減らして報酬を増やしたほうがいいのか。

A：検討委員会で検討中である。

Q：政務活動費は裏報酬ではないか。無くしてもいいのでは。

A：政務活動費については、まだ検討に至っていない。

要 合併後間もない時期なので議員定数については、慎重に検討すべきでは。

Q：議会改革度ランキングとは。

A：議会改革の調査をしている専門組織が調査したものである。

要 議員定数については、経費削減を意識するあまり、削減ありきの様な気がする。市民の声をいかに吸い上げられるか、反映させられるかを考えて検討してほしい。

Q：政策立案はどのようにして行ったのか。

A：政策研究会の立案は、議員からの提案であるが、市民の意見も踏まえているものと考えている。今後もしっかり取り組んでいきたい。

Q：一般質問の質問時間は、減らすのがいいような説明に聞こえる。なぜ減らしてしまったのか。

A：議会改革の中で減らした経緯がある。多くの議員が30分以内に収まっていたので、そのよ

うにした。

Q：地域支え合い活動推進条例について、行政からは名簿は表に出さないでくれとの事である。どこまで規制をするのか。制度を作っても、活動するのに難しさを感じている。

A：運用する方が困ることがないように、行政に伝える。

Q：政策立案に関して、議員のテリトリーが決まっていないか。それぞれ得意な分野で力を発揮してほしい。それぞれ個性を持ってほしい。

A：議員それぞれが政策立案できるよう資質を高め、勉強していきたい。

Q：農業集落排水は便利で良いが、管理組合で管理している。公共下水と同じように行政で管理できないか。

A：元々は農業用排水として始まったことであるため、そのようになっていると思う。

Q：人口減少対策としてどのようなことをやっているのか。

A：Uターンに関する施策や住宅に関する補助などいろいろな施策を行っている。今後も色々取り組んでいかなければならないと考えている。



要 T P Pや減反など農業に対する施策に取り組んでほしい。

○都賀公民館 11月7日（月）

Q：北関東自動車道の都賀インター付近の道路（小山・栃木都賀都市計画道路）開通の見通しは。

A：県の事業であるが、測量はやったようだが、その先は決まっていない。

Q：北部健康福祉センターが西方地域にできることにより、都賀保健センターがなくなるときのだが、その場合は循環バスなどで高齢者の交通手段の確保をしてほしい。

A：要望は伝える。

Q：家中小学校周辺は農振地域だ。市街化区域にできないのか。

A：農振除外は県の権限である。

Q：家中北部土地改良区を開発してほしい。地権者には反対者はいないということだ。

A：反対者がいないという話はきいていない。

Q：深沢地域は山間地で、猪や鹿の被害で困っている。電気柵、金網など決定打がない。対策をお願いしたい。

A：山間部は同じ悩みを抱えている。市に伝えておく。

Q: 少子化対策には所得の拡大が必要である。中小企業でも残業が出来る条例を作ってはどうか。

A: 労働基準法を超えた条例は難しい。

Q: 通学路へ進入時間制限の看板が分かりにくいので、大きな看板にしてほしい。また、でこぼこ道にすることでスピードの制限になるのでは。

A: 担当課に伝える。

Q: 升塚公民館周辺の公園の除草をお願いしたい。

A: 担当課に伝える。

Q: 市道を定期的に巡回し、補修箇所をきちんと把握してほしい。

A: 担当課に伝える。

Q: 下水道工事後の道路舗装（防塵舗装）をしっかりとしてほしい。

A: 担当課に伝える。

Q: 平柳町5差路の信号機の切替時間の調整をお願いしたい。時間が短すぎる。

A: 担当課に伝える。

Q: 小山栃木都賀線のミツカン栃木工場の西側（升塚と平川）の開発を進めてほしい。

A: 地権者の合意を図っているところである。

Q: メディカルセンターとちのきの救急外来体制を戻してほしい。

A: 要望があったことを関係者に伝える。

Q: 政務活動費を使いきってもいいからしっかりと議員活動をしてもらいたい。しっかりと活動すれば市民は納得する。

A: 政務活動費に対する栃木市の規則は厳格なものである。税金から支出されていることを忘れず、大切に使用し、議員活動に役立てていく。

Q: 通学路では物理的にスピードが出ないような策を講じるべきである。また、縁石の高さをもっと高くすることはできないか。

A: 市は通学路を含めた生活道路の整備を進めている。物理的にスピードを出せない策については、担当課に伝える。

Q: 予算を立てる段階で借入れを含めた予算でいいのか。補助金を無駄に使っている団体も見受けられるので、補助金の見直しを考えてほしい。

A: 担当課に伝える。

Q: 市の情報伝達の方法を考えてほしい。ホームページでは高齢者に情報は伝えられない。広報紙をもっと活用すべきである。

A: 担当課に伝える。

Q：議会でタブレットを使用しているが、情報が外部に漏れないか心配である。

A：セキュリティー対策は取っているので心配ない。

○藤岡公民館 11月7日（月）

Q：議会報告会での質問や要望に対する返答を明確にしてほしい。

A：提言書を次年度の報告会に添付するなど検討します。

Q：議会報告会の回数が減ってしまったので増やしてほしい。

A：今年度の状況を見て検討する。

Q：地域会議が地域の問題を取り上げるウェイトが重くなっているが、議会も地域の問題に取り組んでほしい。

A：議員としての役割をしっかりと果たします。

要 田中正造史跡と渡良瀬遊水地の日本遺産認定に向けて、議会にも協力をお願いしたい。

Q：ふれあいバスの乗車率は悪く、無駄ではないか。

A：利益追求ではなく、福祉が目的のバスである。国や県から補助金も出ており、無くすわけにはいかない。バスの小型化も検討している。

Q：ダイヤ整環の地目を変更してほしい。

A：地元の農業委員会を通して要望してほしい。

要 佐野藤岡インター周辺の開発を早く進めてほしい。

要 市道F6号線の工事を進めてほしい。説明が何も無い。

Q：地権者不明の土地から雑草が道路にはみ出して困っている。なんとかしてほしい。

A：地権者の了承があれば、市道の草刈りは市で対応してもらえるはずである。

Q：藤岡二中の生徒が減少しているが、市としての考えを示してほしい。適正配置の説明会があったが、踏み込んだ話が無かった。

A：教育委員会へ伝える。

Q：ふれあいバス部屋線で廃止となった「部屋南部桜つつみ公園」へのルートを再開してもらいたい。



A：担当課へ伝える。

Q：荒立北区画整理地区の土地の販売額を若者でも購入できるように、もっと安くできないか。

A：担当課へ伝える。

Q：小池地区の跨線橋には落書きが多い。子どもたちに絵を描いてもらったらかどうか。

A：担当課へ伝える。

要 岩藤大規模開発を進めてもらいたい。

Q：市道F 6号線の用地買収はどうなっているのか。

A：早急な事業の実施を市に要望する。